



# <u>3.コントローラボード</u>

3-1.コントローラボード仕様

	Table.3.1.1 Specification					
Model No.	RDC-103 TYPE 1	RDC-103 TYPE II	RDC-103 TYPE III	RDC-103 TYPE III +		
機能概要	<ul> <li>Scratch を使って常にパソコン と USB で接続して使うことを 想定したモデル。</li> <li>Scratch 上で、2つのモータま で動かすことが可能。</li> </ul>	<ul> <li>パソコンの無い環境でも、 プログラミングからロボットの制御まで取り組むことができるオールインのポータブルモデル。</li> <li>2つまでのモータを使って自律型ロボットを作成可能</li> </ul>	<ul> <li>パソコンの無い環境でも、、</li> <li>・最大4個のモータを使用し、PCから独立して動く</li> <li>ロボットを作成可能な本格モデル。</li> <li>トの制御まで取り組むこと</li> <li>ができるオールインのポータブルモデル。</li> <li>2つまでのモータを使って 自律型ロボットを作成可能</li> </ul>			
MPU	8 Bit AVR ATMEGA32U4 /内	臓 Flash 32kB / RAM 2.5kB /	/ 動作クロック 8MHz			
プログラム環境	<ul> <li>Pico board(Scratch board) と互換性があり、Scratch1.4を使ってプログラムし動作可能。</li> <li>Arduino 互換性があるため Arduino-IDEを用いてプログラ ミングをすることも可能。</li> </ul>	<ul> <li>Arduino-IDE上で、視覚的フムを作成可能。(作成されたコンパイル後、コントローラ・Arduino互換性があるため、プログラム、技術資料はWe・オンボードの液晶表示モジュに簡易プログラムの作成と見・Scratch1.4を使ってプログラム</li> </ul>	プログラミング環境「ArduBlock 視覚的プログラムは Arduino-IE ラへ転送。) Arduino-IDE にて C++ で直接高 bb 上に多数公開されており、参 ュールとスイッチ、スライダー等 寝行も可能(サンプルスケッチな し動作させることも可能。	と、を用いて視覚的にプログラ シE上でC++言語に変換され、 記述することも可能。サンプル 考資料多数。 等のみを使って、パソコンなし を提供)。		
プログラム ダウンロード	<ul> <li>Scratch を使って動作させる 場合は、常に PC と USB で 接続して使用。</li> <li>Arduino-IDE を用いる場合は PC の USB ポートからダウン ロード可能</li> </ul>	・PC の USB ポートからダウ ンロード可能	・PC の USB ポートからダウ ンロード可能	・PC の USB ポートからダウ ンロード可能		
DC モータ出力	・2 個の DC ブラシモータ制御が ・正転 / 反転 / 停止 及び回転	が可能。 M1,M2 スピードコントロールが可能。	<ul> <li>・ 4 個の DC ブラシモータ制御</li> <li>・正転 / 反転 / 停止 及び回転</li> </ul>	Þが可能。 M1,M2,M3,M4 スピードコントロールが可能。		
サーボ出力 デジタルピンと兼用	・8 個のサーボモータ制御が 可能	個のサーボモータ制御が ・8 個のサーボモータ制御が ・4 個のサーボモータ制御が可能		可能		
入力ポート	・アナログ入力コネクター ×2個	・アナログ入力コネクター ×2個	<ul> <li>・アナログ入力コネクター ×6個(3個はボード上の サとジャンパで切替)</li> <li>・デジタル入出力コネクター ×8個、ピン ×6個 (デジタル端子はモータと兼用(モータ4個で12個</li> </ul>			
みの虫クリップ用端子	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$		
通信ポート	<ul> <li>・基板上に USB コネクターを搭</li> <li>・ I2C, UART 通信可能</li> <li>・ USB コネクターより電源供給</li> </ul>	↓ 「載、プログラムのダウンロート 、机上の回路実験テストなどで	」 、や、取得データのアップロート に 以部電源接続が不要。	」 「が可能。		
按 <del>批 继</del> 处	・音センサ、光センサ、加速度センサ + ジャイロ(I2C)、スライダー、白色 LED をボード上に搭載					
拾軟機能		・I2C 接続各種センサ、超音波	マセンサ を追加可能			
液晶/カバー	オプション	モノクロ LCD /透明カバー	オプション	モノクロ LCD /透明カバー		
回路 / モータM1、M2	• JISR / V1 コネカターから##	给 4 5V-6 0V	・USB / V1 コネクターから供給 4.5V~6.0V			
モータ M3, M4		4.5V~0.0V	・V2 コネクターから供給 モ 用 3 ~ 12V)	モータに合わせた電圧(M3,M4		
・基板サイズ ・重さ	<del>反</del> サイズ 56mm x 88mm 厚さ 25mm ・重さ 約 45.5 グラム					



## 3-2. コントローラボード概要

#### <u>3.2.1. RDC – 103TYPE I</u>

- Scratch を使って2つのモータまで動かすことができ、常にパソコンと接続して使用します。※1
- ・LED /光センサー、音センサー、ジャイロ/加速度 センサ、スライダーをボード上に搭載しており、こ れらを利用して各種制御を行えます。
- ・外部アナログセンサー2個まで接続可能。
- ・サーボモータ8個まで接続可能
- RDC-103TYPE I には、M3、M4、小型液晶モジュー ルは搭載していません。
- ※1 · USB 端子からの電源供給でモータ1 個が動作可 能です。モータ2 個を動かすには、電池を接続して 電源を供給してください。

#### CONTROL BOARD RDC-103TYPE I OUTLINE

 $\bullet$  It's even possible to move 2 motors using Scratch, and always it's connected with a PC and it's used. % 1.

• It's equipped with LED / Light sensor-, Sound sensor-and the Acceleration/a Gyro sensor and a Slider on the board, using these, you can control variously.

• It's even possible to connect 2 of outside analogue sensor (A1,A2).

• It's even possible to connect 8 servomotors.

• M3, M4 and a LCD module aren't loaded into RDC-103TYPE I.

 $\%\,$  1)1 motor can move by power supply from a USB terminal. Please connect a battery and supply me a power supply to move 2 motors.

仕様	The specification	DataSheet URL
マイコン/ ATMEGA32U4、発信周波数 8MHz	MCU / ATMEGA32U4 Clock 8MHz	http://media.digikey.com/pdf/Data%20Sheets/Atmel%20 PDFs/ATmega16U4,32U4.pdf
加速度センサ/ジャイロ	Acceleration / Gyro sensor MPU-6050	http://www.invensense.com/products/motion-tracking/6-axis/ mpu-6050/
音センサ	Sound Sensor SPI XCM6035P	http://www.buzzer.com.hk
スライダーボリューム	SlidePotentiometers Alps RS30H121	http://www.alps.com/WebObjects/catalog.woa/J/HTML/Potentiometer/SlidePotentiometers/
明るさセンサー	Light sensor Everlight PT12-21C	http://www.everlight.com/file/ProductFile/PT12-21C-TR8.pdf

 RDC-103には、いろいろな文字や記号が描かれていますが、大きく分けると、センサ コネクター、モータコネクター、電源コネクター、USBコネクターの4つです。

#### デジタル入出力 Digital in/out<sup>。</sup>

入出力端子を使用したい時はピンで接 続します。

ビン 番号	記号	解説	
13		サーボ /白色 LED/PWM 出力可能 R/C servo motor / White LED / PWM output	
12		サーボ / ボタン R/C servo motor / Button	
11		サーボ / 超音波 / 赤外線 LED R/C servo motor / UltoraSonic / InfraRed	
0		サーボ / ブザー / シリアル RX R/C servo motor / Buzzer / Sirial RX	
1		サーボ / LCD RS / シリアル TX R/C servo motor / LCD RS / Sirial TX	
10		サーボ / LCD CS / PWM 出力可能 R/C servo motor / LCD CS / PWM output	
6		サーボ / M1 PWM 制御/ PWM 出力可能 R/C servo motor / M1 PWM control / PWM output	
5	MI (0.5A 程度 /1個)	サーボ / M1 制御/ PWM 出力可能 R/C servo motor / M1 control / PWM output	
4		M1 制御 M1 control	
7		M2 制御 M2 control	
8	M2 (0.5A 程度	M2 制御 M2 control	
9	/1個)	M2 PWM 制御/ PWM 出力可能 M2 PWM control / PWM output	
	電源コネクター		
	V1	電源コネクター Power Connector	
	-	電源スイッチ Power Swith	
F	RESET	スイッチ 。	



。明るさセンサ Light sensor

発光 白色LED / 受光 フォトトランジスター **ol<sup>2</sup>C コネクター** 3 SCL, 2 SDA

#### <sup>。</sup>アナログ入力 Analog input

A1 (A は Analog の A) と A2 の 2 ポー トがあります。0から電源電圧(3.3V) までの入力電圧を 1024 段階で読み取 ります。センサやボリュームなどを接 続することができます。また、スケッ チで設定を変更するとデジタル入出力 ピンとして使うことができます。

ピン 番号	記号	解説		
AO	AO	音センサ Sound Sensor		
A1	A1	アナログ入力コネクター Analog input		
A2	A2	アナログ入力コネクター Analog input		
A3	A3	みの虫クリップ Signal Clip tarminal		
A4	A4	明るさセンサ Light Sensor		
A5	A5	スライダー Slider		
接線	接続コネクター JST Signal			
COI	nnecto	or XH3B -++++++++++++++++++++++++++++++++++++		

	LED		
	記号		解説
	ON	青色	電源確認 Blue LED
	RX	赤色	通信確認 Red LED
	ΤX	緑色	通信確認 Green LED

〜加速度 / ジャイロ / 温度センサ(I2C) Accelerometer/Gyroscope ♡ボタン button

。みの虫クリップ用端子 Terminal for clips (抵抗等を測ります)

っ音センサ Sound sensor

₀USB コネクター USB connector



#### <u>3.2.2. RDC – 103TYPE II</u>

- 2 個の DC モーターを使用し、PC から独立して動く 自律型ロボットを作成可能。
- ・LED /光センサー、音センサー、加速度/ジャイロ センサー、スライダーをボード上に搭載しており、 これらを利用して各種制御を行えます。
- ・LCD モニターでセンサー値計測が行えます。
- ・外部超音波センサー(別売)接続可能(センサソケット利用)I2C
- ・外部アナログセンサー2個(A1,A2)まで接続可
- ・通常はスケッチ(プログラム)に合わせて配線します。
- ・サーボモータ8個まで接続可能

#### Control board

#### RDC-103TYPE II

 $\bullet$  It's possible to make the autonomous robot which becomes independent of a PC using 2 DC motor-and moves.

- It's equipped with LED / Light sensor-, Sound sensor-and the Acceleration/a Gyro sensor and a Slider on the board, using these, you can control variously.
- The sensor value measurement with a LCD monitor can be performed.
- It's possible to connect Ultrasonic Sensor- (I2C sensor socket use), (separate sale part)
- $\cdot$  It's even possible to connect 2 of outside analogue sensor (A1,A2).
  - Usually wire according to the sketch (program).
- It's even possible to connect 8 servomotors.

仕様	The specification	DataSheet URL
マイコン/ ATMEGA32U4、発信周波数 8MHz	MCU / ATMEGA32U4 Clock 8MHz	http://media.digikey.com/pdf/Data%20Sheets/Atmel%20 PDFs/ATmega16U4.32U4.pdf
加速度センサ/ジャイロ	Acceleration / Gyro sensor MPU-6050	http://www.invensense.com/products/motion-tracking/6-axis/ mpu-6050/
音センサ	Sound Sensor SPI XCM6035P	http://www.buzzer.com.hk
スライダーボリューム	SlidePotentiometers Alps RS30H121	http://www.alps.com/WebObjects/catalog.woa/J/HTML/Potentiometer/SlidePotentiometers/
明るさセンサー	Light sensor Everlight PT12-21C	http://www.everlight.com/file/ProductFile/PT12-21C-TR8.pdf

RDC-103には、いろいろな文字や記号が描かれていますが、大きく分けると、センサコネクター、モータコネクター、電源コネクター、USBコネクターの4つです。

#### デジタル入出力 Digital in/out-

入出力端子を使用したい時はピンで接 続します。

ピン 番号	記号	解説	
13		サーボ /白色 LED/PWM 出力可能 R/C servo motor / White LED / PWM output	
12		サーボ / ボタン R/C servo motor / Button	
11		サーボ / 超音波 / 赤外線 LED R/C servo motor / UltoraSonic / InfraRed	
0		サーボ / ブザー / シリアル RX R/C servo motor / Buzzer / Sirial RX	
1		サーボ / LCD RS / シリアル TX R/C servo motor / LCD RS / Sirial TX	
10		サーボ / LCD CS / PWM 出力可能 R/C servo motor / LCD CS / PWM output	
6		サーボ / M1 PWM 制御/ PWM 出力可能 R/C servo motor / M1 PWM control / PWM output	
5	MI (0.5A 程度 /1個)	サーボ / M1 制御/ PWM 出力可能 R/C servo motor / M1 control / PWM output	
4		M1 制御 M1 control	
7		M2 制御 M2 control	
8	M2 (0.5A 程度	M2 制御 M2 control	
9	/1個)	M2 PWM 制御/ PWM 出力可能 M2 PWM control / PWM output	
	電源コネクター		
	V1	電源コネクター Power Connector	
	-	電源スイッチ Power Swith	

RESET スイッチ ー



─○明るさセンサ Light sensor

発光 白色LED / 受光 フォトトランジスター

• P<sup>2</sup>C コネクター 3 SCL, 2 SDA

#### 。アナログ入力 Analog input

A1 (A は Analog の A) と A2 の 2 ポートがあります。0 から電源電 圧 (3.3V) までの入力電圧を 1024 段階で読み取ります。センサやボ リュームなどを接続することがで きます。また、スケッチで設定を 変更するとデジタル入出力ピンと して使うことができます。

ピン 番号	記号	解説		
AO	AO	音センサ Sound Sensor		
A1	A1	アナログ入力コネクター Analog input		
A2	A2	アナログ入力コネクター Analog input		
A3	A3	みの虫クリップ Signal Clip tarminal		
A4	A4	明るさセンサ Light Sensor		
A5	A5	スライダー Slider		
接	接続コネクター JST Signal			
CO	nnecto	or XH3B -+++		
	LED			

		記号		解説	
		ON	青色	電源確認 Blue LED	
		RX	赤色	通信確認 Red LED	
		ΤX	緑色	通信確認 Green LED	
٥	<sup>▽</sup> 加速度 / ジャイロ / 温度センサ(I2C) Accelerometer/Gyroscope				
δ	<sup>つ</sup> ボタン button				
-0	- <b>○スライダー(可変抵抗)Slider resistance</b>				

oみの虫クリップ用端子 Terminal for clips (抵抗等を測ります) <sup>°</sup>音センサ Sound sensor

∘USB コネクター USB connector





## **BOBO**DESIGNER<sup>®</sup>

#### <u>3.2.3. RDC – 103TYPE III</u>

- 4 個の DC モーターを使用し、PC から独立して動く 自律型ロボットを作成可能。
- ・LED /光センサー、音センサー、加速度/ジャイロ センサー、スライダーをボード上に搭載しており、 これらを利用して各種制御を行えます。
- ・外部超音波センサー 増設可能・I2C
- ・外部アナログセンサー6個まで接続可
- ・通常はスケッチ(プログラム)に合わせて配線します。
- ・サーボモータ4個まで接続可能
- ・2 電源式(M3,M4 モータ電源 最大 12V まで使用可能)
- LCD モニター必要な場合は、RDC-103TYPE Ⅲ+を ご利用ください。

#### Control board RDC-103TYPE III

 $\bullet$  It's possible to make the autonomous robot which becomes independent of a PC using 4DC motor-and moves.

• It's equipped with LED / Light sensor-, Sound sensor-and the Acceleration / Gyro sensor and a Slider on the board, using these, you can control variously.

• It's possible to connect Ultrasonic Sensor- (sensor socket use), I2C----(separate sale part)

• It's even possible to connect 6 of outside analogue sensor (A0,A1,A2,A3,A4,A5).

• It's even possible to connect 4 servomotors.

• 2 power supply system (Even at most 12 V of motor power supply is practicable. M3,M4)

仕様	The specification	DataSheet URL
マイコン/ ATMEGA32U4、発信周波数 8MHz	MCU / ATMEGA32U4 Clock 8MHz	http://media.digikey.com/pdf/Data%20Sheets/Atmel%20 PDFs/ATmega16U4.32U4.pdf
加速度センサ/ジャイロ	Acceleration / Gyro sensor MPU-6050	http://www.invensense.com/products/motion-tracking/6-axis/ mpu-6050/
音センサ	Sound Sensor SPI XCM6035P	http://www.buzzer.com.hk
スライダーボリューム	SlidePotentiometers Alps RS30H121	http://www.alps.com/WebObjects/catalog.woa/J/HTML/Potentiometer/SlidePotentiometers/
明るさセンサー	Light sensor Everlight PT12-21C	http://www.everlight.com/file/ProductFile/PT12-21C-TR8.pdf

RDC-103には、いろいろな文字や記号が描かれていますが、大きく分けると、センサコネクター、モータコネクター、電源コネクター、USBコネクターの4つです。

#### デジタル入出力 Digital in/out。

入出力端子を使用したい時はピンで接 続します。

ピン 番号	記号	解説	
13	M4	サーボ /白色 LED/PWM 出力可能 R/C servo motor / White LED / PWM output	
12	程度 /1個)	サーボ / ボタン R/C servo motor / Button	
11	M3	サーボ / 超音波 / 赤外線 LED R/C servo motor / UltoraSonic / InfraRed	
0	(0.5A 程度 ∕1個)	サーボ / ブザー / シリアル RX R/C servo motor / Buzzer / Sirial RX	
1		サーボ / LCD RS / シリアル TX R/C servo motor / LCD RS / Sirial TX	
10		サーボ / LCD CS / PWM 出力可能 R/C servo motor / LCD CS / PWM output	
6		サーボ / M1 PWM 制御/ PWM 出力可能 R/C servo motor / M1 PWM control / PWM output	
5	MI (0.5A 程度 /1個)	サーボ / M1 制御/ PWM 出力可能 R/C servo motor / M1 PWM control / PWM output	
4		M1 制御 M1 control	
7		M2 制御 M2 control	
8	M2 (0.5A 程度	M2 制御 M2 control	1
9	/1個)	M2 PWM 制御/ PWM 出力可能 M2 PWM control / PWM output	
	電源:	コネクター	
	V2	M3, M4用電源供給端子 Power Connector for M3,M4	]
	V1	電源コネクター Power Connector	],
	-	電源スイッチ Power Swith	],
F	RESET	スイッチ 。	

增設可能 ★超音波センサ Ultrasonic sensor (別売品) 差し込んで使用します。

erlight.com	light.com/file/ProductFile/PT12-21C-TR8.pdf					
°	───○明るさセンサ Light sensor					
	発光	白色	LED /受光 フォトトランジスター			
	I <sup>2</sup> C :	コネ	クター 3 SCL, 2 SDA			
	アナ	ログ	、 入力 Analog input			
	A0 (	A は	: Analog の A) から A5 ま			
	での	計6	ポートがあります。0か			
	ら電	源電	(王 (3.3V) までの入力電			
	上を	102 めヂ	4段階で読み取ります。セ			
	ノリ	やか がで	リュームなどを按航りる			
	で設	定を	変更するとデジタル入出			
	力ピ	ンと	して使うことができます。			
	ピン	記	報告告			
	番号	号	月午司允			
	AO	AO	音センサ / アナログ入力コネクター Sound Sensor/Analog input			
	A1	A1	アナログ入力コネクター Analog input			
	12	12	アナログ入力コネクター			
_			Analog input			
De	A3	A3	みの虫グリップ Signal Clip tarminal			
	A4	A4	明るさセンサ / アナログ入力コネクター Light Sensor/Analog input			
	A5	A5	スライダー / アナログ入力コネクター Slider/Analog input			
-	接線	続コジ	ネクター JST			
	connector XH3B – • • +					
	LED					
	記号解説					
9	ON		青色 電源確認 Blue LED			
	RX 赤色 通信確認 Red LED					
-	T	X	緑色 通信確認 Green LED			
ح`	~加速度 / ジャイロ / 温度センサ(I2C)					

∽ボタン button

─○スライダー(可変抵抗)Slider resistance ─○みの虫クリップ用端子 Terminal for clips (抵抗等を測ります) —○音センサ Sound sensor

JAPAN ROBOTECH LTD.®

◇USB コネクター USB connector



## **OBO**DESIGNER<sup>®</sup>

#### 3.2.4. RDC - 103TYPE III + (LCD 搭載)

- ・4 個の DC モーターを使用し、PC から独立して動く 自律型ロボットを作成可能。
- ・LED /光センサー、音センサー、加速度/ジャイロ センサー、スライダーをボード上に搭載しており、 これらを利用して各種制御を行えます。
- ・LCD モニターでセンサー値計測が行えます。
- ・外部超音波センサー 増設可能・I2C
- ・外部アナログセンサー6個まで接続可
- ・通常はスケッチ(プログラム)に合わせて配線します。
- ・サーボモータ4個まで接続可能
- ・2 電源式(M3.M4 モータ電源 最大 12V まで使用 可能)

#### Control board RDC-103TYPE Ⅲ +

• It's possible to make the autonomous robot which becomes independent of a PC using 4DC motor-and moves.

- It's equipped with LED / Light sensor-, Sound sensor-and the Acceleration / Gyro sensor and a Slider on the board, using these, you can control variously.
- The sensor value measurement with a LCD monitor can be performed.

• It's possible to connect Ultrasonic Sensor- (sensor socket use), I2C----(separate sale part)

- It's even possible to connect 6 of outside analogue sensor (A0,A1,A2,A3,A4,A5).
  - It's even possible to connect 4 servomotors.
- · 2 power supply system (Even at most 12 V of motor power supply is practicable. M3,M4)

仕枝	ŧ		The spec	ification		DataSheet URL			
マイコン/ ATMEGA32U4、発信周波数 8MHz		MCU / ATMEGA32U4 Clock 8MHz		http://media.digikey.com/pdf/Data%20Sheets/Atmel%20 PDFs/ATmega16U4,32U4.pdf					
加速度センサ/ジャイロ		Acceleration / Gyro sensor MPU-6050		http://www.inver	http://www.invensense.com/products/motion-tracking/6-axis/				
音セ	ンサ		Sound Se	nsor SPI	XCM6035P	http://www.buzz	er.com.hk		
スラ	イダ・	ーボリューム	SlidePotentio	ometers Alps	RS30H121	http://www.alps.com/Web	Objects/catalog.	woa/J/HT	ML/Potentiometer/SlidePotentiometers/
明る	さセ	ンサー	Light sens	or Everlight	: PT12-21C	http://www.everlig	ht.com/file	Produc	tFile/PT12-21C-TR8.pdf
・R デ デ ピン 番 13	DC-1 ると、 ネクタ ジタノ 入出 しま 配号 M4	03 には、いろいろな文 センサコネクター、モ ーの4つです。 <b>ル入出力 Digital in/c</b> D端子を使用したい時は ます。 解説 サーボ/白色 LED/PWM 出力可能 R/C servo motor / White LED / PWM	字や記号が ータコネグ Outo ピンで接	が描かれてい クター、電源 ★超音波 (別売品)	いますが、大き ロネクター、 増設可能 センサ Ultrasc 差し込んで使	きく分け USB コ onic sensor 可します。	● 98 3 3 3 1 2 C 1 3 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	さLED トロクに合電2 キロクに合電2 キロクについたのでス	<ul> <li>ノサ Light sensor</li> <li>白色/受光 LED</li> <li>クター 3 SCL, 2 SDA</li> <li>ジ入力 Analog input</li> <li>な Analog の A) から A5 ま</li> <li>ポートがあります。0か</li> <li>注 (3.3V) までの入力電</li> <li>4 段階で読み取ります。セ</li> <li>ジュームなどを接続する</li> <li>きます。</li> <li>ケッチで設定を変更する</li> </ul>
12	(0.5A 程度 /1個)	サーボ / ボタン R/C servo motor / Button					とデ こと	·ジタ :がで	ル入出力ピンとして使う きます。 
11	M3	サーボ / 超音波 / 赤外線 LED R/C servo motor / UltoraSonic / I	nfraRed				番号	計号	解説 <u> </u>
0	程度 /1個)	サーボ / ブザー / シリアル RX R/C servo motor / Buzzer / Sirial	RX		¥		A0	A0	Sound Sensor/Analog input アナログ入力コネクター
1		サーボ / LCD RS / シリアル TX R/C servo motor / LCD RS / Sirial 1	ΓX			Ļ	A2	A2	Analog input アナログ入力コネクター Analog input
10		サーボ / LCD CS / PWM 出力可能 R/C servo motor / LCD CS / PWM ou	ıtput	OB			A3	A3	みの虫クリップ Signal Clip tarminal
6		サーボ / M1 PWM 制御/ PWM 出力 R/C servo motor / M1 PWM control /	可能 PWM output	-			A4	A4	明るさセンサ / アナログ入力コネクター Light Sensor/Analog input
5	M1 (0.5A 程度	サーボ / M1 制御/ PWM 出力可能 B/C serve meter / M1 PW/M control /	PW/M output		·		A5	A5	スライダー / アナログ入力コネクター Slider/Analog input
4	/1個)	M1 制御 M1 control	1 WW Output				括 C	き続コン onnec	ネクター JST tor XH3B <b>– ・・</b> +
7		M1 control M2 制御						LEC	)
		M2 control						己号	解説
8	IMIZ (0.5A 程度	M2 制御 M2 control		10 10 4	- And	ttoh	(	ON	青色 電源確認 Blue LED
9	/1個)	M2 PWM 制御/ PWM 出力可能 M2 PWM control / PWM output			- ACK		-	RX FX	赤色 通信確認 Red LED 緑色 通信確認 Green LED
	電源=	コネクター	/					度 / シ	· ジャイロ / 温度センサ(I2C) geter / Gyroscope
	V2	M3, M4用電源供給端子 Power Connector for M3 M			And a state of the		ACC 〜 ボタ:	≥ieron ∠ butt	on
	V1	Tower connector for WIS,W 電源コネクター Power Connector				)d	o スラ・	イダー	( <b>可変抵抗</b> )Slider resistance
	-	電源スイッチ Power Swith	6			ROUNG	。みの (担	虫クリ 抗等を ンサ s	ップ用端子 Terminal for clips を測ります) ound sensor
F	RESET	スイッチ 。					∘USB	コネク	sand sensor

RESET スイッチ ⊶





## <u>3-3. 搭載機能概要(搭載センサの使い方)</u>

RDC は、Arduino/SensorBoard互換コントローラ です。以下、搭載センサの使い方例です。

#### <u>3.3.1. 音センサ</u>

#### **Outline of functions**

(Equipped sensor how to use) RDC is Arduino/SensorBoard compatible controller, hereinafter a how to use example of a equipped sensor. **Sound sensor** 



音センサの反応に応じてモータの回転方向を変えるプログラムです。 条件分岐のしきい値を変更すると、反応する音の大きさが変わります。

使用コネクタ AO/ Motor1/ Motor2

#### 変数

A0 搭載音センサの出力値を格納します。

 センサ/モータは、車体後ろから見て小さい番号が左側になるように 配置するように作成してあります。

※作成したプログラムは、「名前をつけて保存」します。

作成完了後、「Arduino ヘアップロード」して、コントローラへ書き込みます。

#### 動作手順

・周囲の音がしきい値 (200) ≦なら前進します。

でなければ後進(バック)します。

ソースコードは、PC/MyDocuments/Arduino/ へ配置したサンプルフォルダ [ArduBlock Examples] に、ファイル名【01\_02\_sensor\_motor.abp】で格納されています。

The program example which reacts to the sound around RDC.

Use connector AO/ Motor1/ Motor2 Variable AO An output value of a loading sound sensor is stocked.

\* A sensor/a motor is made as it is seen from the body rear, and it may be arranged as the small number will be the left side.

\*Name the program you made and save in a folder.

After making completion, it "is uploaded to Arduino", it's done and it's written in a controller.

Source code is stocked in the sample folder arranged to PC/MyDocuments/ Arduino/ [ArduBlock Examples] by the file name [01\_02\_sensor\_motor.abp].

#### <u>3.3.2. 明るさセンサ</u>

#### Light sensor



明るさセンサの値に応じてブザーを鳴らしたり止めたりします。 条件分岐のしきい値を変えると反応する明るさが変わります。

#### 使用コネクタ 明るさセンサ(A4) / buzzer(D0) 変数

A4 搭載光センサの出力値を格納します。

※ RDC-103 のブザーは D0 に接続されています。ブロックで D0 が設 定できない場合は、コンパイル後に C ソースコードの下記の関数の 引数を以下のように「0」に修正してください。

tone(0,440);

※作成したプログラムは、「名前をつけて保存」します。

作成完了後、「Arduino ヘアップロード」して、コントローラへ書き込みます。

動作手順

- ・周囲の明るさがしきい値 (200) ≦なら ブザーが鳴ります。
- ・でなければ ブザーが止まります。

ソースコードは、PC/MyDocuments/Arduino/ へ配置したサンプルフォルダ [ArduBlock Examples] に、ファイル名【01\_03\_sensor\_buzzer.abp】で格納されています。 The program example which reacts to the brightness around RDC using a equipped light sensor and moves.

Use connector Brightness sensor (A4) / buzzer (D8)

Variable

An output value of a light sensor with A4 is stocked.

\*Name the program you made and save in a folder.

After making completion, it "is uploaded to Arduino", it's done and it's written in a controller.

Source code is stocked in the sample folder arranged to PC/MyDocuments/Arduino/ [ArduBlock Examples] by the file name [01\_03\_sensor\_buzzer.abp].





#### <u>3.3.3. 超音波距離センサ</u>

Ultrasonic disrance sensor.



超音波距離センサを使用して、対象物との距離を測るプログラム例です。 超音波距離センサHCSR04の接続が必要です。

使用コネクタ	超音波センサ(D11)/
変数	
A4	超音波距離センサの出力値をリアルに出力します。

動作手順

・超音波センサの出力値をリアルに出力します。

ソースコードは、PC/MyDocuments/Arduino/ へ配置したサンプルフォルダ [ArduBlock Examples] に、ファイル名【01\_04\_ultrasonic\_HCSR04.abp】で格納さ れています。

#### 3.3.4. 加速度/ジャイロ/温度センサ

MPU6050\_test | Arduino 1.0.5-2 = 7

 VPU6050\_test | Arduino 1.0.5-2 = 7

 VPU605\_test | Arduino 1.0.5-2
 </

X Hellow Ditter press COLLAR 7 Data (2014) - Xareley and D

※以下は、サンプルコードの内容です。

[Program source code.]

 サンプルのソースコード は、PC/MyDocuments/ Arduino/ へ配置したサ ンプルフォルダ [RDS-X Examples\_C] に、ファイル 名【MPU6050\_test.ino】 で格納されています。ソー スはC言語で記述されて います。

2). Arudino を起動後、[ファ イル]→[スケッチブッ ク]→ [RDS-X Examples\_ C]→[MPU6050\_test.ino] で開くと確認できます。 It's the program example which measures the distance with the target thing using an ultrasonic sensor.

Use connector Ultrasonic sensor (D11)/ Variable

An output value of a A4 ultrasonic sensor is output realistically.

\*We make a made program name and preserve it "".

After making completion, it "is uploaded to Arduino", it's done and it's written in a controller.

Source code is stocked in the sample folder arranged to PC/MyDocuments/ Arduino/ [ArduBlock Examples] by the file name [01\_04\_ultrasonic\_HCSR04. abp].

# The acceleration/gyro/temperature sensor

1). Source code of a sample is stocked in the sample folder arranged to PC/MyDocuments/Arduino/ [RDS-X Examples\_C] by the file name [MPU6050\_test.ino]. A source is being described by a C language.

2). After starting Arudino, [file],-> [sketchbook] can confirm that-> [RDS-X Examples\_C]-> opens by [MPU6050\_test. ino].

\* Below is the contents of a sample source code.

The character of the light color is comment.

薄い色の文字はコメント文です。 // MPU-6050 Short Example Sketch // By Arduino User JohnChi // August 17, 2014 // Public Domain #include<Wire.h> const int MPU=0x68; // I2C address of the MPU-6050 int16\_t AcX, AcY, AcZ, Tmp, GyX, GyY, GyZ; void setup() {



```
Wire.begin();
  Wire.beginTransmission(MPU);
  Wire.write(0x6B); // PWR_MGMT_1 register
  Wire.write(0):
                      // set to zero (wakes up the MPU-6050)
  Wire.endTransmission(true);
// Wire.beginTransmission(MPU);
// Wire.write(0x1B); //FS_SEL register selects the full scale range of the gyroscope outputs
// Wire.write(0); // seto to +-250deg/s 00011000 +-2000deg/s
// Wire.endTransmission(true);
  Serial.begin(9600);
}
void loop() {
  Wire.beginTransmission(MPU);
  Wire.write (0x3B); // starting with register 0x3B (ACCEL_XOUT_H)
  Wire.endTransmission(false);
  Wire.requestFrom(MPU,14,true);
                                      // request a total of 14 registers
  AcX=Wire.read() << 8 | Wire.read(); // 0x3B (ACCEL_XOUT_H) & 0x3C (ACCEL_XOUT_L)
  AcY=Wire.read() << 8 | Wire.read(); // 0x3D (ACCEL YOUT H) & 0x3E (ACCEL YOUT L)
  AcZ=Wire.read() << 8 | Wire.read(); // 0x3F (ACCEL ZOUT H) & 0x40 (ACCEL ZOUT L)
  Tmp=Wire.read() << 8 | Wire.read(); // 0x41 (TEMP OUT H) & 0x42 (TEMP OUT L)</pre>
  GyX=Wire.read() <<8 |Wire.read(); // 0x43 (GYRO_XOUT_H) & 0x44 (GYRO_XOUT_L)
  GyY=Wire.read() <<8 | Wire.read(); // 0x45 (GYRO_YOUT_H) & 0x46 (GYRO_YOUT_L)
  GyZ=Wire.read() <<8 |Wire.read(); // 0x47 (GYRO_ZOUT_H) & 0x48 (GYRO_ZOUT_L)
  Serial.print("AcX = "); Serial.print(AcX / 1638.4);
  Serial.print(" | AcY = "); Serial.print(AcY*0.0054);
  Serial.print(" | AcZ = "); Serial.print(AcZ);
  Serial.print(" | Tmp = "); Serial.print(Tmp/340.00+36.53); //equation for temperature in
   degrees C from datasheet
  Serial.print(" | GyX = "); Serial.print(GyX / 131);
  Serial.print(" | GyY = "); Serial.print(GyY);
  Serial.print(" | GyZ = "); Serial.println(GyZ);
  delay(333);
}
```

3). センサーデータ計測

😌 MP16050 test   Arduno 1.0.5 r2 - 😐 🗙	
かイル 編集 スカッチ ツール へんげ	
VECK AD DO-1	
// Table Shullin	
21 005% (1.502 22 1.50 05 F/ 622 7/ 727 0.50 07 1090 2275	
we apply the second s	
· reduct for	_
- reduct religion : 🗢 🛛 🔿 🖓	
• reset lesseries // fait 4	1
• (Arr U(C) // (U))	-
<ul> <li>Completenies added of ACT to 100 million to 4 million to 40 sectors get each test to 50</li> </ul>	
$    _{X} = \frac{1}{2}                                    $	
M all war (600 1.07 M 2.4 ye 0.01 ye 0.0 we 140, ar 1.00 (8 ), by 150 1.52 (9	
77 (1994) 140 (2) (2) (2010) [25] [101] 35 [102] 35 [26] 36 [26] [10] [10] [10] [26] (26] [10] [26] [26] [26] [26] [26] [26] [26] [26	
- パール1995年、2017年19月0日(日本)5月1日)、「ビースルコース」として、「ビースルコードを一本(ビース・スパース) 	
SAF 141, **********************************	
1 Journal D. And The Control of t	
Construction Prove Construction (Construction Construction) and the Construction of	
- The second sec	
$\zeta$ = 27 L1.5 (27 L1.2 27 27 122 L2 L1.6 [3, 3, 4] L5 [1, 4] -52 [1, 7] -52 (3, 4) (3	
ACTING CONTRACTOR ACTIVE ACTIVE ACTIVE ACTIVE	
28 - 36 21 - 32 - 32 - 22 - 23 - 54 - 43 - 13 - 12 - 24 - 41 - 41 - 42 - 42 - 41 - 41	
$\frac{1}{2} \left( \frac{1}{2} - \frac{1}{2} + 1$	
where a contract the second state of the secon	
and J. G. Sen J. J. West Table for L. M.A. U.S. A. U.S. Line Line	
S CITE V SUBSET See 11 1 See 11 See 12 See 12 See 13 See 13 See 14 See 15 See 15	
2. มีชี โดยโละไม่เป็นไม่เป็นไปเป็นไปเป็นไปเป็นไปเป็น	
	1
(1)-7 (3,1)-3	1

- 【MPU6050\_test.ino】を書き込んだマイ コンボードのプログラムが実行されてい る状態の時に、Aruduinoの[シリアルモ ニター]を使ってセンサの値を調べるこ とができます。(シリアルモニターできる ように sample プログラムを作成してい ます)
- Aruduino の[ツール]→[シリアルモニター]をクリックするとシリアルモニター画面が立ち上がり、リアルタイムでセンサ値が表示されます。
- シリアルモニターでセンサ値を確認しな がらデータ収集を行います。(USB ケー ブルは接続のまま)
- 4. USB ケーブル接続を外して、データ計測 を停止します。シリアルモニターウィン ドウの計測値表示が停止しますので、確 認が容易になります。
- 5. シリアルモニターから表計算ソフトなど にコピー (Ctrl+C)、ペースト (Ctrl+V) して数値をグラフ化処理すると分かり易 くなります。
- 6. USB ケーブルを抜いて、ロギングを停止 してからコピーしてください。

測定データの、1例です。
AcX = 0.0-75 | AcY = 0.0-37 | AcZ = 14572 | Tmp = -0.0-68 | GyX = -2 | GyY = -119 | GyZ = -59
加速度データ X軸 | Y軸 | Z軸 | 温度データ | ジャイロデータ | X軸 | Y軸 | Z軸



## <u>3.3.5. LCD センサーテスター</u>

- RDC-103Type Ⅱ / Ⅲ + では、製品出荷時検査プロ グラム LCD センサーテスターを入れており、使用 時に電源を入れ動作させると、下図のように搭載 センサの計測センサ値が LCD に表示されます。
- 2. 写真の表示値は、コントローラボードの搭載センサが計測した値です。
   Sound = 0
   Light = 652
   Slider = 152
  - Slider = 153Button = 0
- コントロールボード周辺の明るさ、周辺の音、 スライダーを変化させると、表示センサ値も変化しますので、実験確認ください。
- ご自分のプログラムや、 サンプルプログラムなど をコントローラへアップ ロードされますと、上書 きされて、出荷時の検査 プログラムは、消されま す。
- Button = 058
- 5. LCD にセンサー情報を表示して使用したい時は、 下記の LCD モニターサンプルコードを参考にして ください。

#### 6. [参考]LCD\_テスター(製品検査時プログラム) [Program source code.]

#include "U8glib.h"
#include <STEMDu.h>

U8GLIB\_AQM1248A\_2X u8g(10,1); // Hw SPI CS=10, A0=1

/\* Initialize STEM Du board \*/
STEMDu robot = STEMDu();

#### String lineBufferString; char lineBuffer[16];

int soundValue; // Sound sensor int lightValue; // Light sensor int sliderValue; // Slider sensor int pushValue; // Push button

#### void draw(void) {

// graphic commands to redraw the complete screen should be placed here u8g.setFont(u8g\_font\_unifont); //u8g.setFont(u8g\_font\_osb21); lineBufferString = String(""); lineBufferString += "Sound = "; lineBufferString += soundValue; lineBufferString. toCharArray(lineBuffer,16); u8g.drawStr(0, 11, lineBuffer); lineBufferString = String(""); lineBufferString += "Light = "; lineBufferString += lightValue; lineBufferString. toCharArray(lineBuffer,16);

```
u8g.drawStr(0, 23, lineBuffer);
lineBufferString = String("");
lineBufferString += "Slider = ";
lineBufferString.
toCharArray(lineBuffer,16);
u8g.drawStr(0, 35, lineBuffer);
lineBufferString = String("");
lineBufferString += "Button = ";
lineBufferString += pushValue;
lineBufferString.
toCharArray(lineBuffer,16);
u8g.drawStr(0, 47, lineBuffer);
```

#### void setup(void) {

// flip screen, if required
//u8g.setRot180();

// set SPI backup if required
//u8g.setHardwareBackup(u8g\_backup\_avr\_spi);

}

🖘 Sound

}

#### void loop(void) {

```
// read the input on analog port
soundValue = robot.readSound(); //
Sound sensor
lightValue = robot.readLight(); // Light
sensor
sliderValue = robot.readSlider(); //
Slider sensor
pushValue = robot.readPush(); // Push
button
```

```
// picture loop
u8g.firstPage();
do {
    draw();
} while(u8g.nextPage());
```

// rebuild the picture after some delay
delay(50);

```
}
```

※以上は、サンプルコードの内容です。 薄い色の文字はコメント文です。 ※ソースコードサンプルは、PC/MyDocuments/Arduino/ へ 配置したサンプルフォルダ [スケッチの例]に、ファイル名 [STEM-Du]  $\rightarrow$  [TYPE II]  $\rightarrow$  **【**SPIGLCD\_SensorTest**】**で格納さ れています。 ソースは C 言語で記述されています。 ※ Arudino を起動後、[ファイル]  $\rightarrow$  [スケッチの例]  $\rightarrow$  [STEM-Du]  $\rightarrow$  [TYPE II] で開くと確認できます。

サンプルコードを呼出し後、3 行目の U8GLIB\_AQM1248A\_2X u8g(10,<del>11</del>); // Hw SPI CS=10, A0=<del>11</del>を、 U8GLIB\_AQM1248A\_2X u8g(10,1); // Hw SPI CS=10, A0=1 と 2 か所の 11 を 1 に変更してください。

\* Program source code of [SensorCheker] is stocked in the sample folder arranged to PC/MyDocuments/Arduino/ RDS-X\_Example\_C by the file name [SPIGLCD\_Tester].





#### 3.3.6. SensorValues Checker



- RDC-103Type II / III + では、アナログ入力のセン サ値を、LCD モニターに表示することができます。 コントローラボード搭載センサ、もしくは、A0~ A5 に接続している外部センサーの計測値を LCD モ ニター表示できますので、ロボットを動作させる環 境でのセンサー値をその場で計測可能です。
- 作成 / 調整するプログラムの「しきい値」調整に お役立てください。
- ※.「SensorValues]のプログラムソースコードは、PC/ MyDocuments/Arduino/RDS-X\_Example\_Cへ配置したサ ンプルフォルダに、ファイル名【SPIGLCD\_SensorTest\_ Connector】で格納されています。

<u>3.3.7. BatteryChecker — ResistanceChecker</u>

1. Analog sensor data is shown to a LCD monitor in RDC-103Type II / III +.

- A LCD monitor indicates measured data of a sensor with a controller board or connected outside sensor.
- $\boldsymbol{\cdot}$  It's possible to measure a sensor data at a movement place.

2. Please use it for making/"threshold value" coordination of an adjusted program.

\* Program source code of [SensorValues] is stocked in the sample folder arranged to PC/MyDocuments/Arduino/ RDS-X\_Example\_C by the file name [SPIGLCD\_SensorTest\_ Connector].



1. RDC-103Type II / III + は、基板下部の「みの虫クリッ プ端子」を使って、乾電池のチェックや、抵抗など の計測ができます。

(電池計測時に、電池をショートさせないように注意 すること)

計測可能範囲 □乾電池:1本 □抵抗値:1k~100kオーム



みの虫クリップ例

 「BatteryChecker]のプログラムソースコードは、PC/ MyDocuments/Arduino/RDS-X\_Example\_Cへ配置したサ ンプルフォルダに、ファイル名【SPIGLCD\_Tester】で格 納されています。 1. RDC-103Type II / III + can measure a check of a dry battery and resistance using "clip terminal" for the substrate lower part. (Be careful so as not to make a battery short-circuit at the time of battery measurement.) Measurement possible area

Teasurement possible area  $\Box$  Dry battery 1

Dry battery: 1pcs

 $\square$  Resistance value :1k-100k ohm

2. みの虫クリップコードは必要に応じて準備ください。 \* You prepare clip cable as the need arises, please.

- コードの絶縁被覆をはがしてクリップ端子の穴に銅線
   を通し結びつけることでも使用できます。
- \* It can be used even to peel off insulation covering of a cable and tie to a hole of a clip terminal through a copper wire.

\* Program source code of [BatteryChecker] is stocked in the sample folder arranged to PC/MyDocuments/Arduino/ RDS-X\_Example\_C by the file name [SPIGLCD\_Tester].



#### <u>3.3.8. 使用頻度が多い Example Code</u>

実験 1.: Analog Read Serial

 アナログ入力をチェックする時に、何かと便利なサンプルコードです。 調べたい端子を指定して、入力電圧の変化をシリアルモニターで確認 できます。

PC/MyDocuments/Arduino/へ配置したサンプルフォルダ[スケッチの例] [01.Basics] に、ファイル名【AnalogReadSerial】で格納されています。 C 言語で記述されています。

※ Arudino を 起 動 後、[フ ァ イ ル]→[ス ケ ッ チ の 例]→[01. Basics]→[AnalogReadSerial]で開くと確認できます。

<u>.</u>	AnalogReadSerial   Arduino	1.0.5 r2 – 🗆 ×
ファイル 編集 スケッチ	F ツール ヘルプ	
	<b>.</b>	p.
sketch_mar25a		Program source code.
/* AnalogRead Reads and to the seria Attach th A0, and the	dSerial analog input on pin 0, al monitor. Ne center pin of a po outside pins to +5V a	prints the result tentiometer to pin nd ground.
This examp */	le code is in the publ	ic domain.
<pre>// the set reset: void setup() // initia per second: Serial.beg }</pre>	up routine runs onc ) { alize serial communica gin(9600);	e when you press ation at 9600 bits
<pre>// the loc forever: void loop() // read th int senso U // print of Serial.pr: delay(1); stability</pre>	<pre>op routine runs ove: { ne input on analog pin rValue = analogRead(A0 put the value you read intln(sensorValue);</pre>	r and over again 0: ); // (A4)に上書き変 :入力ポート端子番号 between reads for
}		¥
<		>



コントローラ搭載の「明るさセンサー」を調 べたい時は、入力端子番号を(A4)に上書き 変更して、アップロードします。 プログラム実行後に、Arduino-IDEの[ツー ル]→[シリアルモニター]をクリックすると、 モニターウィンドウが出現し、指定した端子 に入力している信号をモニター表示します。

#### ExampleCode with a lot of use frequencies

#### Experimental 1; Analog Read Serial

\* When checking analog input, it's a convenient sample code. You can designate the terminal I'd like to check and confirm the change in input voltage by a serial monitor.

It's stocked in the sample folder arranged to PC/MyDocuments/Arduino/ [example of a sketch] [01.Basics] by the file name [AnalogReadSerial]. It's being described by a C language.

X After starting Arudino, [file],-> can confirm that-> [Sample Code of Sketch]-> opens by [01.Basics].

When you check "brightness sensor-" of controller loading, an address changes and uploads the input terminal number in (A4).

When [tool]--> [serial monitor] of Arduino -IDE is clicked after program execution, a monitor indicates the signal a monitor window is inputting to the terminal which appeared and designated it.





#### 3.3.9. (別売の) サーボモータ追加例





デジタルピン5番に追加し実験 ※サーボモータコードとコン トローラの接続極性を注意 して接続。



別売品 SG92R

#### 実験例1:Sweep

※ソースコードは、PC/MyDocuments/Arduino/のサンプル フォルダ [Servo] に、ファイル名【Sweep】で格納されています。 ソースは C 言語で記述されています。

Sweep   Arduino 1.0.5 r2 ×				
ファイル 編集 スクッチ ソール ヘルプ				
Program source code.				
// Sweep // by BARRAGAN <http: barraganstudio.com=""> // This example code is in the public domain.</http:>				
<pre>#include <servo.h></servo.h></pre>				
<pre>Servo myservo;</pre>				
<pre>myservo.attach(9);     //この位置のピン番号9をサーボ接続した5番に変更して使用します。     // attaches the servo on pin 9 to the servo object }</pre>				
<pre>void loop() {   for (pos = 0; pos &lt; 180; pos += 1)</pre>				
delay(15);				





実験例2:Knob ドアノブを回すような動きをします。

※ソースコードは、PC/MyDocuments/Arduino/のサンプル フォルダ [Servo] に、ファイル名【Knob】で格納されています。 ソースは C 言語で記述されています。

■ ファイル 編集 スケッチ ツ	Knob   Arduino 1.0.5 r2 - コーン	:
skelot mar25a	Program source code.	
//Knob // Controlling a serv // by Michal Rino	o position using a potentiometer (variable resistor) tt <http: m.rinott="" people.interaction-ivrea.it=""></http:>	٨
<pre>#include <se< pre=""></se<></pre>	ervo.h>	
Servo myserv // crea	ro; ate servo object to control a servo	
int potpin = // ana // この 御量を変化させるこ int val;	- 0; log pin used to connect the potentiometer 立置の Pin 番号を A5 に変更すると、スライダーで制 とができます。	
// varia void <b>setup()</b> {	able to read the value from the analog pin	
myservo.at // atta //この位 }	:tach (9); ches the servo on pin 9 to the servo object 置のピン番号9をサーボ接続した5番に変更して使用します。	
void <b>loop()</b> {		
<pre>val = anal     // rea between 0 and val = map(     // scale</pre>	<pre>cogRead (potpin); ds the value of the potentiometer (value 1023) val, 0, 1023, 0, 179); ale it to use it with the servo (value</pre>	
between 0 and myservo.wr // set	180) <b>tite</b> (val); s the servo position according to the	
<pre>scaled value    delay(15);         // wai }</pre>	ts for the servo to get there	
٤	\$	۷
	ひ西市西も亦市後 マップロードレアわばいノギオ	

🕎 JAPAN ROBOTECH LTD.®



#### <u>3.3.10. (別売の) I<sup>2</sup>C コンパスセンサ追加例</u>



X	方位	出力値	分解能
北	Ν	0	1 度単位で出力
東	Е	90	
南	S	180	
两	W	270	

#### ・使用例



コンパスセンサ RDI-5883L のサンプルプログラムです。

RDC-103 の I<sup>2</sup>C コネクタに RDI-5883L を接続します。 1 度単位で角度を取得できます。

#### プログラムの動作手順

- ・変数「direction」に角度の値を格納
- ・シリアルモニタに出力
- ・角度が 180 度以上になったら LED を点灯、それ以下の場合は消灯

#### ・利用例

ロボットによる「サッカー競技」など、守備 / 攻撃などの方向がある 競技に利用します。ロボットの方向によって、守備行動、 攻撃行動を変化させます。オウンゴールを防止する目的 などに利用します。

サッカー競技に利用…「challenge\_range\_kick\_sample.abp」に HMC5883L コンパスセンサを追加したサンプルプログラム… ソースコードは、PC/MyDocuments/Arduino/へ配置したサンプルフォルダ[ArduBlock Examples]に、ファイル名 [24\_04\_challenge\_range\_kick + sample.abp] で格納されて います。Arduino/ArduBlock で、PC/MyDocuments/Arduino/ArduBlock Examples の 中に配置したサンプルを開くと確認できます。





を使用く



RoboDesignerPlus RDC-102,103 使用時に、充実拡張させ るパーツアクセサリーの紹介です。 詳細は JAPAN ROBOTECH のホームページでご確認ください。

#### 1. コネクタ付 6V 電池ケース RDP-8093x4P



¥300\_(税抜き) 単3 x 4 本電池ケース、コード長さ 30cm、端末 JST 型 2 ピンコネクター 付

2. コネクタ付 4.5V 電池ケース RDP-8093x3P



¥300\_(税抜き) 単3x3本電池ケース、コード長さ 30cm、端末 JST 型 2 ピンコネクタ付

#### 3. コネクタ付 3V 電池ケース RDP-8093x2P



¥300(税抜き) 単3 x 2 本電池ケース、コード長さ 30cm、端末 JST 型 2 ピンコネクタ付

4. USB 単 3 x 4本電池ケース RDP-8093x4USB

¥900(税抜き) 単3 x4本電池ケース、USBコネクター 付き、

5. マイクロ USB 接続コード RDP-824 ¥400\_(税抜き)



オス 1.5 m A-microB



6. 電池ケース コネクター変換コード RDP-825 2本組¥400\_(税抜き) バラ線コード~ JST 型 2 ピンコネクタ 変換ケーブルです。長さ10cm 加工用 熱収縮チューブ付

#### 7. DC ジャック-2 ピン変換ケーブル RDP-826



¥400(税抜き) 2.1mm 標準 DC ジャック~ JST型 2 ピンコネクタ変換ケーブル,長さ11cm AC アダプター接続時に使用

#### 8. 基板式電源スイッチ RDP-828



¥350\_(税抜き) 電池ケースなどにスイッチを追加加工 するスイッチ基板です。3ピンコネクタ ー接続式



#### 14. エンコーダ付ギアードモータ RDO-502EN



学習にご利用いただけます。付属ケ ーブル20cmXH3P-QL3P 電源電圧 DC4.5V 付属モータケーブル 20cm エンコーダ:1周8パルス 単相 モータ回転軸上にエンコーダ装備

**15. エンコーダ付モータ RDO-29BMA** ¥3,700\_(税抜き)



2相出力の12パルスエンコーダ付 で、フィードバック制御の学習などにご 使用いただけます。 電源電圧 DC12.0V 付属ケーブル30 cm 先バラ

🗞 JAPAN ROBOTECH LTD.®



## **ROBO**DESIGNER<sup>®</sup>

#### 16. エンコーダ・ギアヘッド付DC モータ RDO-29B50G27A, 54A



エンコーダ付モータRDO-29BMA にギアヘッドを付けたモータ です。減速比は 1/27、1/54の2 種か ら選べます。

電源電圧 DC12.0V 付属ケーブル30 cm 先バラ

17. ギアヘッド付 DC モータ RDO-29B36G10A

¥3,280\_(税抜き)

¥7.800(税抜き)



ギアヘッド付モータです。減速比 1/10 回転数 370rpm 電源電圧 DC12.0V 電源ラグ端子付き

18. タッチセンサー JES-7022

¥1,200\_(税抜き)



スプリングを利用した組み立て式で、 接触式センサの仕組みがわかりやすく なっています。付属ケーブル30cm

19. アナログ赤外線センサー JES-7023 ¥ 1.500(税抜き)



アナログ出力の小型でシンプルな赤外 線センサです。赤外線LED 付き、アク ティブ/パッシブ切り替えスイッチ付 き。30cmケーブル付



**20. 変調赤外線センサー RDI-203JR** ¥1,200\_(税抜き) テレビなどの赤外線リモコンの変調信 号(38kHz 搬送波)を受信するための センサです。ロボカップジュニアサッカ ー公式ボール(パルスモード)に対応し ています。30cmケーブル付

RDI-204 21.照度センサー

¥3,000\_(税抜き)



照度(環境の明るさ)を測るセンサで す。太陽光~室内明るさまで測れるレ ンジ切替式です。30cmケーブル付

#### 22. 測距センサー RDI-209



¥1.800(税抜き)

赤外線を照射し、その反射量(距離)に 応じたアナログ電圧を出力するセンサ です。測定可能範囲は、10~80cm。 30cmケーブル付

#### 23. 超音波センサー



**RDI-HCSR04** ¥1,200(税抜き) 超音波を照射し、その反射量(距離)に 応じたアナログ電圧を出力するセンサ です。 分解能:0.3 c m 🚮 測距範囲:2 ~ 450 c m

¥1.800(税抜き)

#### 24. I<sup>2</sup>C コンパスセンサ RDI-5883L



地磁気を計測、分解能360、出力1度 単位。 I2C ケーブル付属です。 ケーブル長 20cm

25. 赤外線反射センサー RDI-211



¥1,200\_(税抜き) 対象物に赤外線を照射し、反射強度を アナログ出力します。

小型•薄型•近距離計測用 焦点距離 1mm ケーブル長 30cm

#### 26. R/G/B LED ライトスタンド RDS-LEDST404



R/G/B LED ライトRDO-404 ボックス 型スタンドセットです。12cm 角程度の

¥6.800(税抜き)

水耕栽培プランターなどでそのまま実 験などに利用することができます。



育成光の色の違いで、植物の味が変化 します。RDC-103と接続、制御基板で プログラムにより、R/G/B調整が可能 です。



#### 27. R/G/B LED ボード RDO-404

¥5,800\_(税抜き) 水耕栽培実験などに利用できるLED 照明ボードです。切替スイッチで赤/ 緑/青の3色とその組み合わせで発 光できます。



2 枚組¥2,380\_(税抜き) 赤外線センサを使った明るさを測る実 験や、ライントレースプログラムの実 験、調整ができるシートです。シートサ イズ:594x841mm(A1版)



# <u>4.プログラム環境の使い方</u>

## 4-1. プログラム開発環境使用事前準備

(プログラム環境 Scratch,Arduino,ArduBlook, 及び RDC-102 動作環境とデバイスドライ バーのインストールが完了していない場合 は、[2. プログラム開発環境の準備]を参照し て、先にインストールを完了させて下さい)



#### [1]. パソコン (PC) と基板を接続します。

1. PCと基板を、USB接続コードで接続します。

2. 接続するとPCが基板を感知し、PC側の「COMポート」が自動設定 されますので、次の手順に従い、COM番号を調べてください。

#### [2]. COMポートの確認

【Windows10の場合】 1.[ コントロールパネル] を選択しま す。

2. コントロールパネルの [ハードウェアとサウンド]

を選択します。

3.[ハードウェアとサウンド]内の [デバイスマネージャー]

を選択します。

4. ポート (COM と LPT) をクリック し『STEM Du RDC-102(COMxx)』 の番号を確認し、記録します。

#### [3]. Arduino-IDE の通信ポート設定

- 1. Arduino-IDE のアイコンを クリックして開発環境を スタートさせます。
- 2. 起動した Arduino-IDE の [ツール]
   ▷ [シリアルポート]の COM 番号を、調べた番号に設定します。
   出現するリストの該当 COM 番号を 選択・クリック指定を行います。
   リスト左端に 図 印が付きます。
- Arduino-IDE の[ツール] ▷
   [マイコンボード]をクリックし、
   出現するマイコンボードリストで、
   [STEMDu/RoboDesigner
   + RDC-102w/ATmega32U4
   3.3V 8MHz]を
   選択・クリック指定を行います。
   リスト左端に●印が付きます。







How to use the program environment

#### Program development environment use preliminary preparations

(Program environment Scratch, Arduino, ArduBlook and RDC-102 When working environment and installation of a device driver aren't complete, please refer to [2. Preparations of a program development environment] and complete installation.)

# [1]. PC and a circuit board are connected.

1. PC and a circuit board are connected by a USB connecting cable.

2.When it's connected, a PC senses a circuit board, and "communication port" on the PC side is established automatically, so please check the COM number with the next procedure.

#### [2]. Confirmation of communication port [In case of Windows8]

1. A charm is indicated on the desktop screen, and [setting] is chosen.

2. [Control Panel] is chosen.

3. [Hardware and Sound] of a Control Panel are chosen.

4. [Device manager] of [Hardware and Sound] is chosen.

5. A port (COM and LPT) is clicked, the number of "STEM Du RDC-102 (COMxx)" is confirmed and it's recorded.

#### (3).Communication port setting of Arduino-IDE

1. You click an icon of Arduino-IDE, and make a development environment start.

2. Which is started Arduino-IDE [tool]  $\triangleright$  [serial port] is opened.

The COM number is set as the checked number.

3. [STEMDu/RoboDesigner+RDC-102w/ ATmega32U4 3.3V 8MHz] is chosen and click designation is performed by the microcomputer board list which clicks is Arduino-IDE [tool] ▷ [microcomputer board] and appears.

A  $\bullet$  mark sticks to the list left end.





## <u>4-2. Scratch</u>



JAPAN ROBOTECH LTD.®

Ľ

#### 4.2.2. Scratch を起動する。

#### 1). windows の場合:

[WinScratch1.4-stemdu01] ▶ [Scratch] の 中 の、 [Scratch4STEMDu.image] を、 [Scratch.exe](猫顔マーク) へ、ド ラッグ&ドロップして起動します。

#### 2). Mac OS X の場合:

配置した [Scratch\_14\_for\_STEM\_ Du\_01]の中の、[Scratch4STEMDu. image] を、ダブルクリックして起動 します。

#### 3).まず、動かしてみましょう。

- 1. Scratch はおもちゃのブロックを組 み立てるような感覚で手軽にプロ グラムを作成できるソフトウェア です。必要なスクリプト(プログ ラム言語の一種)が「ブロック」 として用意され、ブロックを組み 合わせるだけでプログラムを作る ことができます。
- 2. Scratch の画面は左 右に分かれており、 右側には「スプライ ト」と呼ばれる画像 が、左側にはスクリ プトの編集画面が表 示されます。
- 3. 編集画面には「10 歩動かす」「15 度 右に回す」のように 平易な言葉で書かれ た小さなブロックが 一覧表示されていま す。動かしたいスプ ライト画像を指定

ドラック&ドロッフ LTT.

#### 1. Scratch is the software which can make a program easily by the sense to put a block of a toy together. A necessary script is prepared as "block", and it's possible just to combine a block and make a program.

↓ Scratch which starts



#### 2. A screen of Scratch is divided into left and right, and the picture called "Sprite" is shown to the right side and an edit display of a script is shown to the left side.

3. The small block written by simple words is showing a glance to an edit display, "It's moved 10 steps." "It's turned to the right 15 times." like.

\* You designate the Sprite picture you'd like to change, and drag and drop makes the block divided among "the appearance", "movement" and "sound" etc. an edit display.

し、「見た目」や「動き」、「音」などで分けられたブ ロックを編集画面にドラッグ&ドロップします。

- 4. ブロックをクリックすると、ブロックに記載された 内容に応じて画面右側の画像が動き出します。
- \* まずは画像を左から右に移動させたり、吹き出し文 字の台詞を表示させたりするといった、簡単な動作 をさせながら操作を覚えていきます。
- 5. 操作に慣れてきたら「調べる」にあるブロックを使っ て、イベントに応じて異なる動きをするよう設定し てみましょう。

・例えば複数の画像が重なったときに「ガチャン」 と音を鳴らしてぶつかった様子を演出したり、画像 の上でクリックしたときに向きを変えたりするな ど、条件によって異なる動作をさせることが可能で す。

・上手に組み合わせることでちょっとしたゲームを 作ることも夢ではありません。

6. 完成したアニメーションは「発表モード」に切り替 えることで、全画面表示で見ることが出来ます。

4. When a block is clicked, a picture on the screen right side begins to move according to the contents indicated on a block.

Scratch is started.

facial mark).

1). In case of windows:

2). When it's Mac OS X:.

3). First, we'll move that.

clicked and started.

[WinScratch1.4-stemdu01] ▷ drag and

drop does and starts [Scratch4STEMDu.

image] in [Scratch] to [Scratch.exe] (cat

[Scratch4STEMDu.image] in arranged

[Scratch\_14\_for\_STEM\_Du\_01] is double-

\* We'll make them move easily first, and remember operation.

You move a picture from the left to the right, please, of the balloon character, a word, please make them indicate.

5. If you're being experienced in operation, it "is checked", you'll establish it so that a movement different according to the event may be done using some blocks.

\*For example such as changing the direction ringing "moth" and sound and producing the crashed state, and when more than one picture was piled, when clicking on the picture, it's possible to make them do movement different depending on the conditions.

\*It isn't also a dream to make a form of game with combining well.

6. It's possible to make the cartoon film made by a mode change full display.





命令

命令

命令

連結

条件

命令

命令

くり返し

ずっとくり返し

成立する

#### 4.2.3. 命令ブロックの実行規則

3). くり返し(条件ループ)

成立しない

10 歩動かす

15 🕀 度回す

100 歩動かす

90▼ 度に向ける

ニャー・の音を鳴らす

もし端に着いたら、跳ね返る

下まで行くと停止します。

. .

ます。

カート 追っ込み 引きこう

調と自殺者が

繰り返す(条件ループ)があります。

1). スクリプトの実行プロセスは、 「連結」が基本で、並んだ命令ブ ロックが上から順に処理されま す。また、「繰り返し」と「条件分岐」 という処理手順も使えます。

2). 連結

1. 繰り返しには、ある条件が満たされている間だけ

2. SCRIPT では繰り返す部分を [ の中に書きます。 「命令ブロック」を配置すると匚 の大きさが変わり

48 ▼のドラムを 0.2 拍鳴らす 1. 先ず、最も基本的で簡単な「連 結」の例です。くっつけた「命令 ブロック」は、上から順に実行さ れます。

Execution regulation in an order block

1). "Connection" is a basis for Executing Process of a script, and the order block you lined is disposed of in turn from the top. You can also use a process as "repeat" and "conditional branch".

2). Connection

1. An easy example of "connection". Attached "order block" is executed in turn from the top

When go to the bottom, a program stops.

3). Repetition (condition loop)

1. Only while the condition to have that is met to repeat it, there is a repeated (condition loop).

2. A repeated part is written in the  $\Box$  in SCRIPT. When "order block" is arranged, the size of the  $\Box$  changes.

4). Repetition (infinite loop) 1. There is also a (infinite loop) repeated eternally.

4). ずっとくり返し(無限ループ)



1. ずっと繰り返す(無限ルー プ) も、あります。

> 5). Conditional branch (1) 1. An example of a conditional branch

2. Something to use for the condition



プログラム開発環境 Program Environment





motor

motor

motor

motor

<∰

3. モータは A.B の 2 種類を使えま

RDC

M1

M2

4. Scratch と RDC のモータ端子

1. センサーは下記の5種類を

2. センサ-ブロック左側の□にチェッ

・この計測値を、「しきい値」条件の参

ク入れると,センサー値を調べる

マークが、右側のステージに配置

選ぶことができます。

Scratch

motorA

motorB

す。

(2). センサー

されます。

考とします。

on

off

power 100 direction こちら向き

motor

A

В

レッサーの値

シリーの値

കല് <u> ተርለ</u>ታ፣ ወመ

注創 センサーの値

- 3. A motor can use 2 kinds, A and B.
  - 4 .Scratch and motor terminal for RDC.

(2). Sensor 1. A sensor can choose the following 5 kinds.

- 2. When  $\Box$  on the sensor block left side can be made a check on.
- Mark who checks the sensor value is arranged in a right stage.
- \* This value is made reference of the "threshold value" condition.



スライダー センサーの値 🔲

明るさ センサーの値 🔲

(傾き センサーの値 🔲 距離 センサーの値 🔲

(音 センサーの値 👥



## 

## <u>4-3. Scratchの動作実験</u>

#### <u>4.3.1. Sensor-Board の起動方法</u>

- (1).【パソコン(PC)での準備】
   1.マイコンボードをPCに接続します。
  - [PC] ▷ [ハードウエア] ▷ [デバ イスマネジャー]で、 COM 番 号を確認します。
- (2).【Sensor-Board に設定】Scratchの プログラムをコントローラで実行 できるようにするために RDC ヘス ケッチを書き込み、Sensor-Board に設定します。
  - 1. [Arduino-IDE] ▷ [スクラッチの 例] ▷ [STEMDu] ▷ [Type\_1] の [ScratchBoard.ino] を開きます。
  - [Arduino-IDE] ▷ [ ツ ー ル ] ▷ [シリアルポート]にて調べた COM 番号に設定します。
  - Arduino-IDE の (→) をクリック し、マイコンボード (RDC) に 書き込みます。
  - 書き込みに成功するとメッセージ が表示されます。
- (3).【Scratch での準備】通信設定を行います。
  - センサ ブロックを選択し、右 クリックすると、メニューが現 れます。「ScratchBoard 監視板 を表示」を選択し、クリック実 行します。
  - ステージに「ScratchBoard 監視 板」が出現します。
  - 3. 「ScratchBoard 監視板」を右クリッ クし、「シリアルか USB のポー トを選択」を選択すると、通信 ポート(COM ポート)リストが 現れますので、調べて ŧŋ おいた COM 番号に設 スライダ 明るさ 定します。 퓸 ・通信設定完了する ボタン と、「切」→「入」 ٨ B r へ変化し、ボード n 搭載センサのデー ター値が表示され ます。
  - 4. 使用準備ができましたので、 確認実験です。
    - \*マイコンボードのスライダーを左右へ動かしてみます。→監視板/ スライダー数値が変化します。
       \*\*ライトセンサへ光を当てて強弱変化 させてみます→監視板/明るさ数値 が変化します。
    - \*\*\* これで、マイコンボードは ScratchBoard として動作していますので、モータ 制御などを含むスケッチを実行させると、接続しているモータが動き始めます ので、机の上から落としたりしないように注意します。





791-90879. 1988

maps:

Source - Relation operation (Phan MCP)









#### Movement experiment of Scracth Initiation method of Sensor -Board

(1). [Preparations by a PC]

1. A microcomputer board is connected to a PC.

2. [PC]  $\triangleright$  [Hardware]  $\triangleright$  [Device manager], the COM number is confirmed.

(2). [It's set as Sensor - Board.] a sketch is written in RDC and it's set as Sensor -Board because I'll can execute a program of Scratch by a controller.

1. [Arduino-IDE] ▷ [Example of a scratch] ▷ [STEMDu] the one of the [Type\_1] ▷ [ScratchBoard.ino] is opened.

2. It's set as the COM number checked in [serial port] in [Arduino-IDE] [tool].

3. (  $\rightarrow$  ) of Arduino-IDE is clicked and it's written in a microcomputer board (RDC).

4. When I succeed in writing in, a message is indicated.

(3).[Preparations in Scratch] communication setting is performed.

1. When a sensor - a block is chosen and right-clicked, the menu appears. "Of a ScratchBoard watcher, indication" is chosen and a click is executed.

2. "ScratchBoard Watcher" appears in a stage.

3.When "ScratchBoard watcher" is rightclicked and "of a serial or a port in USB, choice" is chosen, a communication port list shows, so it's set as the checked COM number.

\*When communication setting is completed, a data value of a sensor with a board changes into "on" "off", and is indicated.

4. Use preparations are done, so it's a confirmation experiment.

\* Slider-of a microcomputer board will be changed to left and right. -> A watch board/a slider - a figure changes.

\*\* You apply light to a light sensor, and the watcher/ brightness numerical value I'll make do strength transition of-> changes.

\*\*\* A microcomputer board is moving as ScratchBoard with this, so when I make them carry out the sketch which includes motor control, a connected motor begins to move, so I pay attention so as not to drop it from the top of the desk.



#### <u>4.3.2. スクリプト例を使用して動作実験</u>

(1). ScratchProject の Example4-1 を開いてみます。

- ○○センサの値の3か所 を「スライダー」に選択変 更します。
- 2. このスクリプトではスター トが たかののちれた ですの で、Scratch 画面右肩に配 置されている「緑色の旗」 をクリックして、スクリプ トを実行します。
- 3. 実行中は、周囲が白枠で 囲まれます。
- マイコンボードのスライ ダーを動かして監視板の数 値を観察してください。
- マイコンボードの motor1、 motor2 に接続しているモータの 動きが「しきい値」を境にして、 プログラム通りに回転を変化させ ながら動くことが確認できます。



#### 4.3.3. Scratch では、接続した状態のまま、マイコンボードが動作します。

- 1. Scratch では、常にパソコンとマイコンボードを USB で接続して使用 します。
- 2. マイコンボードの PC 接続を外して、自律型動作をさせるときは、 ArduBlock をご利用ください。

#### Experiment on movement using a script example.

(1). Example4-1 of ScratchProject is read.

1. Choice changes 3 points of a  $\ \bigcirc$  ,  $\ \bigcirc$  sensor value to "slider".

2. A start is A by this script, so the "green flag" arranged by a Scratch screen right shoulder is clicked and a script is executed.

3. During carrying out, the environment is surrounded with a white frame.

4. Please change a slider of a microcomputer board and observe the numerical value of Watcher.

5. A movement of the motor connected to motor1 and motor2 of a microcomputer board can confirm the thing which moves while changing a revolution into a program street on reaching "threshold value".

#### <u>A condition and a microcomputer</u> <u>board of the connected position</u> <u>move in Scratch</u>.

1. Always it's connected with a PC and it's used in Scratch.

2. When removing a PC connection of a microcomputer board and making them do autonomous movement, please use ArduBlock.









# 4-4. ArduBlock

4.4.1. ArduBlock構成



HEATE A CONTRACTOR (20) SHALLY OF AN HEATE



## <u>4.4.2. ArduBlock の使い方</u>

- (1). ArduBlock を起動します。
  - Arduino-IDE を起動し、IDE の[ツール]▷ [ArduBlock] を選択し、クリックします。



- (2).LED で光実験をする。
  - 1. デジタル 13 番ピンにつながった LED を 1 秒毎に点滅させるためのスケッチを 書いてみます。

インプログラ

 まずは、左列ア イコンパレット の一番上にある
 (制御)をクリックした時に出現するサブウィンドウから[ループ]を選択し中央のフィールドにドラッグ&ドロップします。
 \*プログラムには、[ループ]が必ず必要です。
 [メインプログラムのループ]
 [初期化ルーティンを伴うループ]

のいずれかのループでプログラム 作成します。

- [ループ]をドロップした画 面に、次を加えます。 左列アイコンパレットの {ボート(ビン)}をクリッ クした時に出現するサブ ウィンドウから[<u>デジタル</u> 値をポート(ピン)に設定 する]を選択し中央フィー ルドにドラッグ&ドロップ します。
- ループの中のパーツの位置 に収まるようにドロップす ると「カチッ」と音がして、 ブロックが、ループにはま り込み結合します。
- 次にアイコンパレットの
   {
   制御 }をクリックした ときに現れるサブウィンド ウから\*[ミリ秒待つ ミリ秒] をループ枠の中へドラッグ &ドロップします。
- ブロックをドロップするたびに、ループ枠が大きくなっていきます プログラムの大きさに合わ せて変化します。

\*[ミリ秒 待つ \_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_」は、結合アイコンの動作をその設定時間継続動作するという意味です。



右の画面が、立ち上がった ArduBlock です。

## How to use ArduBlock

#### (1). ArduBlock is started.

1.Arduino-IDE is started, which is IDE [tool]  $\triangleright$  [ArduBlock] is chosen and it's clicked.

An upper screen is ArduBlock.

#### (2). A light experiment is done by an LED.

1. The sketch for number 13 of digital to make the LED which connected with a pin flash on and off every 1 second will be written.

2. When clicking the {**control**} on number one of left side, you choose [<u>loop</u>] from the right sub-window from which you emerge, and do drag and drop in a central field.

3. [Loop], the next is added to the screen which dropped.

•When clicking the left side {**port (pin)**},  $\triangleright$  [ <u>the digital value set as a port (pin)</u>] from the sub-window from which emerge, you choose and do drag and drop in the center field.

4. That it drops so that it may fit into the location of the parts in the loop, it makes a noise with "Cachi", and a block telescopes in a loop and combines.

5. When clicking {**control**}, next drag and drop does [the millisecond indicated] to the inside of a loop frame from the sub-window which shows.

6. A block, every time it drops, a loop frame is becoming big. It changes according to the size of the program.









7. When clicking the left side {port (pin)} again,  $\triangleright$  [the digital value set as a port (pin)] from the sub-window from which emerge, you choose and do drag and drop in the center field.

8. A program became bigger.

9. Drag and drop does more [milliseconds] to the inside of a loop frame from the subwindow of {control} again.

10. The block where a drop was arranged is set.

a). The port pin number is set as 13 according to the LED arrangement number. b).HIGH is on and LOW is off.

c).By the millisecond unit, entry and 1000 milliseconds are 1 second.

- d).The port (pin) number is set as 13 according to the LED arrangement number.
- e).HIGH is on and LOW is off. f).By the millisecond unit, 1000
- milliseconds are 1 second.

\*a) It was set as 13.

h

с

d

\*b)It was set as HIGH. \*c) It was set as 1000.

\*d) It was set as 13.

\*e) Please set it as LOW.

\*f)It was set as 1000.

11. The operational explanation.

The program made in ArduBlock is made in the basic [loop] block.

Delete : It's already arranged, a block, when you'd like to put it out, you do drag and drop inside the left limits.

Comment : When a comment is made, it's convenient for a program memo. You appear by a right click together with a cursor in a block.



## **BOBO**DESIGNER<sup>®</sup>

#### この手続きを、必ずしてください。 しないとプログラムのアップロードがで きません。エラーになります。

スケッチを Arduino ヘアップロード する前に下記の確認を必ず行います。

- ・PC とマイコンボードの接続をします。
   ・Arduino-IDE の[ツール]▷「マイコンボード」設定の確認、「シリアルポート」の 接続 COM 番号設定をします。
- 12. [保存]、[名前をつけて保存] いずれかで、作成したスケッチ を保存します。
  - ・保存先 [PC] ▷ [ドキュメン ト] ▷ [Arduino] ▷ [ArduBlock Examples] ファイルフォルダーに 保存します。
  - ・保存したプログラムは、いつで も読み込むことが可能です。
- [Arduino にアップロード]をク リックし、作成したスケッチを、 Arduino ヘアップロードします。
  - Arduino ヘアッフロートします。 ・アップロードしたスケッチは、 Arduino-IDE のスケッチに「C 言 語」で表示されて、コンパイル されます。
- コンパイル後は、すぐにマ イコンボードへの書き込みが 始まります。
- 15. 書き込み完了メッセージ@

#### 書き込みが失敗すると赤色表示でエラーを知らせます。 エラーメッセージ Couldn't find a Leonardo on the selected port. Check

マイコンボードへの書き込み完了

that you have the correct port selected. If it is correct, try pressing the board's reset button after initiating the upload.

- マイコンボードを USB ポート へ接続していなかったり、(\*a) 通信ポート COM (No) 設定 が間違っていたり、(\*\*b) ボー ドの動作環境が合っていな かったりすると、(\*\*\*c) 通信 エラーが発生して、マイコン ボードへの書き込みが失敗し ます。
  - \*a). Arduino メニューバーの [ツール]▷[マイコンボー ド]メニューから接続した い Arduino ボードの名前を 選びクリック指定します。 (RDC-103 は、STEM Du/ RoboDesigner+ RDC-102 w/ ATmega32U4 - 3.3V 8MHz)
  - \*\*b). Arduino メニューバーの [ ツール] ▷ [ シリアルポート] メニューから接続したいポー ト番号を選びクリック指定 します。Windows の場合は COM3 といったような名前に

なっていて、数は3以上の場合もあります。

\*\*\*c).「2-4. ドライバーインストール」の項を参照して適切なドライバーを セットください。

A 188 2,755

1.87

17442.0

48

7-10-512920

えかっきをアーカイブする

いる時間正

(2). エラーメッセージを確認して、対策を施して、問題を解決した後で、 再度、マイコンへの書き込みを行います。





LANCE BO

#### Please be sure to do this procedure. When it isn't done, a program can't be uploaded. It'll be an error.

Before uploading a sketch to Arduino, the following confirmation is performed certainly.

\* A PC and a microcomputer board are connected.

\* Confirmation of the  $\rightarrow$  "microcomputer board" setting which is Arduino-IDE [tool] and connection COM number setting of "serial port" are done.

12. A made sketch is preserved by one of [Save] and [Save as].

13. [To Arduino, upload] is clicked and a made sketch is uploaded to Arduino.

An uploaded sketch is shown to a sketch of Arduino-IDE by "C language", and is compiled.

14. After compiling, writing in to a microcomputer board will start immediately.

#### 

Couldn't find a Leonardo on the selected port. Check that you have the correct port selected. If it is correct, try pressing the board's reset button after initiating the upload.

(1) A microcomputer board isn't connected to a USB port.

(\*a) communication port COM (No) The setting is wrong.

(\*\*b) working environment of a board isn't right.

 $({}^{***}c)$  then a communication error occurs, and writing in to a microcomputer board is failed.

\*a).The name of the Arduino board I'd like to connect is chosen from the [microcomputer board] menu which is Arduino menu bar [tool]. (For RDC-103, STEM Du/RoboDesigner+ RDC-102 w/ ATmega32U4 - 3.3V 8MHz)

\*\*b). You choose the portnumber you'd like to connect from whole menu of the subwindow in which is a Arduino menu bar [tool] ▷ [serial port].

 $\bullet$  It's COM3 and the name I needed in case of Windows.

 $\ast\ast\ast$  c). Please refer to an item of "2-4. Driver installation" and set an appropriate driver.

(2). After you confirmed the error message and did a measure, and settled a problem, you write notes in a microcomputer once again.







<u>**4.4.4. ArduBlock サンプルプログラム**</u> ※サンプルは、PC/MyDocument/Arduino へ配置した ArduBlock Examples に格納されています、必要なプログラム名を指定して開きます。



ロボットモデル	サンプルプログラム名	プログラム概要
R o b o t i c s experiment	01_01_motor_slider.abp	スライダーを動かすと、出力される値に応じてモータの回転数が変化しま す。
R o b o t i c s experiment	01_02_sensor_motor.abp	音センサの入力に応じて、モータの前進、後進が変化します。
R o b o t i c s experiment	01_03_sensor_buzzer.abp	明るさセンサの入力に応じて、搭載ブザーが鳴ります。
R o b o t i c s experiment	01_04_ultrasonic_HCSR04.abp	超音波距離センサHCSRO4 サンプルプログラムです。 対象物との距離を計測します。
R o b o t i c s experiment	01_05_ultrasonic_PING.abp	超音波距離センサ PING サンプルプログラム Parallax のPING 用のサンプルです。
R o b o t i c s experiment	01_06_analog_checker.abp	アナログセンサの値をシリアルモニタで確認するArduBlock サンプルプログ ラムです。 反射センサや変調赤外線センサなどの値をチェックして、しきい 値設定の参考にします。
R o b o t i c s experiment	01_07_button.abp	押ボタンを押されると動作プログラムをスタートします。
R o b o t i c s experiment	01_11_12Ccompass_HMC5883L.abp	ハネウェルのコンパスセンサHMC5883L のサンプルプログラムです。 HMC5883L 用のブロックです。 1 度単位で角度を取得できます。
R o b o t i c s experiment	01_12_12Ccompass_HMC6352.abp	ハネウェルのコンパスセンサHMC6352 のサンプルプログラムです。 HMC6352 は2 バイトで0.1 度単位の方位の値を返します。
RDS-X21	21_01_clash_avoidance_HCSR04.abp	超音波障害物回避ロボットのサンプルプログラムです。
RDS-X21	21_02_Line_board-lightsensor.abp	ライントレースサンプルプログラムです。搭載センサ使用
RDS-X23/24	24_01_base_floor_X24_sample.abp	赤外線反射センサ RDI-211 を使用して床の明暗に反応して動きます。
RDS-X23/24	24_02_base_ball_X24_sample.abp	変調赤外線センサ RDI-203JR を使用して赤外線ボールを探します。
RDS-X23/24	23_03_base_floor_ball_sample.abp	「floor_sample」と「ball_sample」を組み合わせたプログラムです。
RDS-X23/24	23_04_base_floor_ball_button_sam- ple.abp	「base_floor_ball_sample」に、ボタンで動作プログラムをスタートする機能 を加えてあります。
RDS-X23/24	23_05_base_stop_sample.abp	白いラインがあったら停止します。
RDS-X24	14_01_challenge_range_sample.abp	「floor_ball_sample」に測距センサを使ったドリブル動作を加えたプログラ ムです。
RDS-X24	24_03_challenge_range_kick_sample.	「challenge_range_sample」にキック動作を加えたプログラム
RDS-X24	24_04_challenge_range_kick+_sam-	「challenge_range_kick_sample」にアナログセンサを追加したプログラム です。
RDS-X24	24_05_challenge_range_kick+_but-	「challenge_range_kick+_sample.abp」に、ボタンで動作プログラムをスタートする機能を加えてあります。
RDS-X24	14_05_challenge_compass_sample.	コンパスセンサの値から、ロボットが敵ゴールの方を向いている場合のみ前 進します。
RDS-X24	14_06_challenge_compass+_sample. abp	「challenge_compass_sample.abp」に、ボタンで動作プログラムをスタート する機能を加えてあります。
RDS-E20	20_01_LED_RGB.abp	栽培工場のRGB サンプルプログラムです。
RDS-E20	20_03_LED_RGB_sequence.abp	時間に応じてRGB のon/off を制御して、色の組み合わせを変化させます。
RDS-E20	20_04_LED_RGB_colorChange.abp	スライダー(A5)の入力値に応じてRGBのon/offを制御して、色の組み合わ せを変化させます。
RDS-E20	20_05_LED_RGB_color&brightness- Change.abp	明るさセンサ(A 4)の入力値に応じてRGB への出力を制御して、色の明る さを変化させます。暗いほど明るくなります。 明るさが一定以上の場合は、 消灯します。
RDS-E20	20_06_LED_RGB_ color&brightnessChange&timer.abp	ボタン(12)を押すと、一定時間消灯します。



## 4-5. Arduino-IDE



🖄 JAPAN ROBOTECH LTD.®



#### <u>4.5.2. Arduino-IDE の使い方</u>

次の手順で Arduino ヘスケッチ (プログラム)をアップロードできます。

sketch apr23e | Arduno 1,0,5-r2

 開発環境でボードの 種類を選びます。・メ ニューバーの[ツー ル] ▷ [マイコンボー ド] メニューから接続 したい Arduino ボー ドの名前を選びクリッ ク指定します。(RDC-103 は、STEM Du/ RoboDesigner+ RDC-102 w/ATmega32U4 -3.3V 8MHz)



~167 URE

書込税度 アートローグを基本込む Cit +1

di fari

Od. Care

12 cigits 13 ani/ing

us. corerei

05 Semiar UnDeploy 00 SEGNO

09.055

6

LU Sécrete wat

00 M/s 00 M/s 00 M/s 00 M/s

Andrew Street

Brocksdepisiop

-

Lode

pin 13 LED

パウャナモアーコイフギモ モンコーディングを用王 シバアルモニタ

7+16 編集 2/755

4 ME 3344 #R2746 #C-

1392.34

Inerest.

866 97 3977-14

.109888

191912

167

HID & HORRAD

●なお用き手が用き2の

20.04

1.1.0.0.1.1

マイコンボードへの書き込みが完了しました。

. . .

- シリアルポートを選ぶ手順
   メニューバーの[ツール]▷[シ リアルポート]メニューから接続 したいポート番号を選びクリック 指定します。Windows の場合は COM3 といったような名前になっ ていて、数は3以上の場合もあ ります。Mac の場合は /dev/tty. usbserial といったような名前に なっています。
- スケッチをアップロードする手順 メニューバーから[ファイル] ▷ [スケッチの例] ▷ [01.Basics] ▷ [Blink] を選んで、例題スケッチの 「Blink」を開きます。

「Blink」を開いたエディタのアップ ロードボタンを押すだけでArduino ヘプログラムが書き込まれます。 数秒待つとボード上のRXとTXの LED が瞬くのが見えます。

> アップロードボタンupload button

アップロードがうまく行けば、 ステータスバーに「マイコンボー ドへの書き込みが完了しました。」 と表示されます

アップロードが終わった数秒後に、 ボード上の pin 13 LED が点滅を始めます。

こうなれば成功です!! これで Arduino にプログラムを書き込ん で動かすことができるようになり ました。



#### How to use Arduino-IDE

A sketch (program) can be uploaded to Arduino by the next procedure.

1. The kind of boards is chosen by a development environment.

\* The name of the Arduino board I'd like to connect is chosen from the [a microcomputer, board] menu in the [tool] of a menu bar. (For RDC-103, STEM Du/ RoboDesigner+ RDC-102 w/ATmega32U4 -3.3V 8MHz)

2. The procedure from which a serial port is chosen

\* The portnumber I'd like to connect is chosen from the [serial port] menu in the [tool] of a menu bar.

• It's the name like COM3 in case of Windows, and the number is sometimes more than 3.

 $\bullet$  It's the name like /dev/tty.usbserial in case of Mac.

3. The procedure which uploads a sketch.

From a menu bar [File]  $\triangleright$  [Example of a sketch]  $\triangleright$  [01.Basics]  $\triangleright$  [Blink] is chosen and "Blink" of an exercise sketch is opened.

A program just presses an upload button of the editor which held "Blink", and is written in Arduino. When you wait for several seconds, I'd see RX on the board and an LED of TX twinkling.

When upload works, you indicate "Writing in to a microcomputer board has been completed." in a status bar.

pin13 LED on the board will begin to blink several seconds later when upload has ended.

When it's so, it's success! You could write a program in Arduino by this and make now them move.







#### <u>4.5.3. Arduino Example Code ( スケッチの例)</u>

(1). [ファイル] ▷ [スケッチの例]の中には、数多くのサンプルコードが準備されています。





#### <u>4.5.4. 使用例 Read Analog Voltage</u>

- (1). センサデータを取得します。
  - Basic -ReadAnalogVoltage: Reads an analog input and prints the voltage to the serial monitor を使用して、センサのデータを調 べてみます。 [ファイル]▷[スケッチの例]▷[1.

Basic] ▷ [-ReadAnalogVoltage] を Arduino で開きます。

2. Example コードを変更しないでそ

のまま記載し、変更部分は青色コメントで追加していますので、各自 で変更してください。変更したスケッチは別名で[名前を付けて保存] します。



#### Use example, Read Analog Voltage

#### (1). Sensor data is acquired.

Reid

1. Data of a sensor will be checked using "Reads an analog input and prints the voltage to the serial monitor".

• [File] ▷ [example of a sketch] ▷ [1.Basic] ▷ [-ReadAnalogVoltage] is opened in Arduino.

2. Example code isn't changed and it's mentioned just as it is, and a change part is adding a blue comment, so be respectively and please change it. Please name a changed sketch and preserve it.

3. The code of [-ReadAnalogVoltage] is changed according to its use destination. A change point is the following 2 kinds.

\* The Pin number with which the sensor you'd like to acquire is connected

Sound sensor : A0 of controller loading Light sensor : A4 of controller loading Slider volume value : A5 of controller loading

The Pin number which was connected to connected optional sensor-: A1, A2, A3 \* Acquired data classification

Same data classification :sensorValue as "threshold value" to make a program reflected, which doesn't have to calculate substitution (Sensor Value is expressed by reduced property of 5V/1,023.)

4. After confirming [microcomputer board] and [serial port] by [tool], a made sketch is written in a microcomputer board.



## **ROBO**DESIGNER<sup>®</sup>

- 自分の目的に合わせて、
   [-ReadAnalogVoltage]のコードを 変更します。
- 変更点は下記の2種類です。
   取得したいセンサーを接続している Pin番号
   コントローラ搭載の音センサ:A0
   コントローラ搭載のスライダーボリューム値:A5
   接続した任意のセンサ-:A1,A2,A3等接続した Pin番号
- 取得するデータ種別 プログラムに反映させるため、置換計算し なくて済む「しきい値」と同じデータ種別: sensorValue (Sensor Value は、5 V/1,023 の 換算値で表現されます)
- 4. [ツール]で[マイコンボード]、[シ リアルポート]を確認し、通信可 能に設定のうえ、作成したスケッ チを、マイコンボードに書き込み ます。
  - \*Arduino IDE のアップロードボ タン(→)アイコンを選択クリッ クすると、マイコンボードへの 書き込みを開始します。
- 5.Arduino メッセージ「マイコン ボードへの書き込み完了しまし た。」がでると、書き込み成功 です。
- 6. [ツール] ▷ [シリアルモニタ]をクリックし、実行します。
- 7. 下図画面の COM ウインドウが表示され送られてくるデータ内容が表示されます。

112.4-1

0

春近祭園 ナートローダを書き込む

(5/152) - (600 baad

※シリアルモニターを停止する場合には、マイコンボードから USB ケーブルを抜きます。抜いても COM ウィンドウ No 表示は消えま せんので、測定を停止後に、データの確認を行うことが できます。

 8. データは早いスピードでカウントされます。10秒で 40,000 超のデータカウント数に及びます。データを個 別で見ると変化を読み取ることが難しいので…→ 全部 データを選択 [Ctrl]+[A]、あるいは、必要なデータ範囲を 選択し、[Ctrl]+[C] キーを使用してコピー、Excel など表 計算ソフトにペースト [Ctrl]+[V] して、グラフ化機能を 使い、整理すると、見やすいデータとして使い勝手が良 いでしょう。
 \*USB ケーブルを抜いて、ロギングを停止してからコピー してください。
 \*\* 右は、床にひかれた白線を測定したデータを、グラフ化した図で す。どれほどの大きさか一目で理解でき、「しきい値」の検討など

す。どれほどの大きさか一目で理解でき、「しきい値」の検討など に役に立てることができます。

9. この機能を使用して、「音センサ−」のデータを取得してみてくださ
◇ い。

マイコンボード搭載の「音センサー」が、周囲の音を計測して いることが分かります。「話し声」や「手をたたく音」などを計 測してみると、なるほどと面白く実験できます。

 シリアルモニターを長い時間継続すると、取得データがオーバーフ ローし、PC がフリーズすることがあります。 このような場合、データ取得を中止し、コントローラのリセット、 Arduinoの再立ち上げを行ってください。 お使いの P/C によっては、P/C の再起動が必要な場合もあります。 5. When a Arduino message "Writing in to a microcomputer board has been completed." goes out, it's writing in success.6. [Tool] ▷ [serial monitor] is clicked and executed.

7. A COM window of the following figure screen is indicated, and the data contents which are being sent are indicated.

\* When stopping a serial monitor, a USB cable is removed from a microcomputer board.

\*Even if it's removed, a COM window doesn't go off, so after suspending measurement, it's possible to confirm the data.

8. Data is counted by the early speed.

That comes to the number of data counts in which 40,000 per 10 seconds is exceeded.

When data is seen separately, it's difficult to read a change.

You'd be easy to use as the data you tend to think Excel chooses a necessary data area [Ctrl] + [C], and makes the copy paste spreadsheet software using a key, and to put it in order using the graphing function.

\* Remove a USB cable, and please copy after a log is suspended.

\* \*Below is a figure which graphs the data with which the white line attracted by a floor was gauged. It can be understood and is it possible to be able to be useful for consideration of "threshold value" by how much size or look?

9. Please acquire data of "sound sensor-" using this function.

You find out that "sound sensor" of microcomputer board loading is measuring



the surrounding sound.

That "voice" and "the sound with which a hand is hit" etc. will be measured, I see, you can experiment interestingly.

#### PC freezes

When a serial monitor is continued long time, acquisition data overflows, and a PC freezes.

Please cancel data acquisition in such case and restart a reset of a controller and Arduino.

A restart of a computer is sometimes needed by the model you use.



## **ROBO**DESIGNER<sup>®</sup>

#### 4.5.5 表計算ソフト

1. シリアルモニタのデータは、1 秒で 4000 個超のカウント数になります。プログラムの分岐条件に使用するしき い値は取得データを「表計算ソフト」などを利用してグラフ化し、分岐点を考察します。 ・代表的な表計算ソフトとして EXCEL(有料ソフトウェア)があります。その他無料でインタネットから入手で きるソフトウェアの例として OpenOffice もあります。









10 回形描画(B)

F-9-7-7(D)

テンプレート(K)....

12 数式(I)

J

-タペースト時に、データ種別を決めておきます。 区切りのオプション:固定幅(F)

「スペース」で区切りを指定すると文字と数値が スペースで区切りされ、セルに配置されます。

30

無調1 - OpenOffic

1

F4320181

н

------

<

N

۲

-16.6

2925/9

STREET, DOOR

LATTIC THAT

# <u>5.ロボットの仕組み</u>

プログラムする、計測する、制御する programed, measure and control

### <u>5-1. RoboDesignerの構成</u>

\* ロボットの製作に入る前に、知っておかなければならないことがありま す。まずは、どのような仕組みでロボットが動くかを学習しましょう。 \*\*RoboDesigner はコントローラボードが中心となって構成されています。 つまり、コントローラボードからの指令で各パーツが動くわけですが、 どうやって指令の内容を決めればいいのでしょうか?まずは、それを 理解しましょう。

\*\*\*RoboDesigner には、プログラム開発環境 Aruduino 及び ArduBlock 並 びに Scratch が付属しています。まずは、それらのプログラム開発環 境を用いて、指令の内容 (プログラムのこと)を作成します。それを、 コントローラボードに転送します。

#### The construction of RoboDesigner

\*Before entering making of a robot, We have to know. We'll learn by what kind of mechanism a robot moves first.

\*\*A controller board takes the leading part, and RoboDesigner consists of it. In other words, each parts are the reason which moves by an order from a controller board, but how should the contents of an order be decided? First, We'll understand that.

\*\*\*Program development environment Aruduino, ArduBlock and Scratch attach to RoboDesigner.

First, the contents of an order (Program.) are made using those program development environments. That's forwarded to a controller board.

 Image: Scratch
 Image: Scratch

 Image: Scratch
 Image: Scr

パソコンとコントローラボードの接続に は、2通りの種類があり、目的に応じて、 どちらを使うかを選びます。

◆ Scratch は、コントローラボードを USB 接続したままセンサボードとして利用しま す、プログラムの動きはシミュレータで確 認できます。

◆ ArduBlock は、パソコンとコントローラボードの接続を外して、ロボットは自律して動けます。

このように、コントローラボード は独立で、プログラムにしたがっ て指令を出すことになります。実 際は、転送の際に、パソコンとコ ントローラボードとの間に USB

図 2:パソコンから、

コントローラボードに プログラムを転送する

ケーブルが中継することになりま 図3:コントローラボードから各パーツに指令が出る すし、コントローラには、センサからの信号も入ることになりますので、 少し違うのですが、自律型とはどのようなことなのか わかりましたか? There are 2 kinds in a connection of a PC and a controller board, and it's chosen which to use according to the destination.

• Scratch can confirm the movement of the program used as a sensor board by a simulator while connecting a controller board.

 $\blacklozenge$  ArduBlock removes a connection of a PC and a controller board, and a robot does self-control, and can move.

Thus as a controller board is programed independently, instructions will be given.

A USB cable will report live between the PC and the controller board in case of transmission actually and a signal from a sensor will also enter a controller, so it's a little different, did you know what kind of thing an autonomous type was?



## 

## <u>5-2.実際の動作例</u>

- 1. 前項の説明は、概略的なもので、良くわからない でしょう。実際に、ロボットの構成を考えてみま す。
- 例として、最初は前進を続け、接触式センサが 反応したら後進するロボットを考えてみます。 前進をするのですから、ギアボックス(+タイヤ) が2個、接触式のタッチセンサが1個必要にな ります。また、プログラムを転送するのですか ら、USB転送ケーブルも必要になります(実際に 動かすときは外します)。
- 3. モータへの電源として電池ボックスも必要で す。
- \* コントローラボードだけであればUSB ケーブルを通してパ ソコンから電源が供給されますので、基板は電気が入りま すが、大きな電力を使うモータを動かすときは電池からコ ントローラへの電源供給が必要です。その構成はこのよう な感じです。
- では、信号の流れを順番に追っていきましょう。青矢印線が信号の流れです。まず、パソコン で作成したプログラムをコントローラボードに 転送します。
- 5. 転送が終了したら、USB ケーブルは、コントロー ラボードから外してしまいます。転送時以外に ケーブルがつながっていると、ロボットが動くと きにケーブルが邪魔になり、ロボットの行動に 制限がかかります。
- Cれは、パソコンとコントローラボードをつない でいるUSBケーブルを外すだけでOK です。
   では、コントローラボードに転送されたプログラムを実行します。
- 7. プログラムが実行されると、まず、コントローラ からギアボックスに前進の信号が送られて、ギ ア(タイヤ)が前進方向に回転します。 これで、ロボットが前進します。
- 8. ロボットがずっと前進を続けていくと、壁にぶつ かって、タッチセンサのスイッチが入り、信号が コントローラボードに送られます。
- 9. 壁にぶつかりタッチセンサから信号が入ったので、前後進が切り替わります。今度は、コントローラからギアボックスに後進の信号が送られて、先ほどとは逆の方向に車輪が回転します。
- 10. このように、センサからの信号にあわせてロボット を自在に動作させることができます。ロボット製作に は機体製作、センサ感度調整、プログラミング等の総 合的バランスが必要です。トライ&エラーという言葉 もあるように、繰り返し調整をしましょう。









図 7: ギアボックスに前進の信号を送る





#### An actual movement example.

1. The explanation of the preceding clause is summarizing, and it wouldn't be understood well. Then, actually, the person who considered the construction of the robot may be easy to understand.

2. The advance is continued as an example, and if a contact type sensor reacts, the robot the younger generation does is made. Because a robot moves ahead, I need 1 of touch sensor by which gearboxes (+ tire) are 2 and a contact type. I also need a USB transmission cable for you to upload a program in a robot. (When moving it separately.).

3. A battery housing is also necessary as a power supply to a motor.

\*When it's only a controller board, a power supply is supplied from a PC through a USB cable, so electricity enters a substrate, but when moving a motor using the big electric power, power supply to a controller is needed from a battery. Its construction will be such feeling.

4. Then, we'll follow the signal trend in turn. A blue arrow line is a signal flow. First the program made by a PC is upload to a controller board.

5. If transmission ends, please remove a USB cable from a controller board. When a robot moves when a cable is connected besides the transmission time, a cable is annoying, and it takes restriction for behavior of a robot.

6. This just removes the USB cable with which a PC and a controller board are being connected, and is OK. Then, we'll execute the program uploaded to a controller board.

7. The signal which is an advance first in a gearbox from a controller when a program is executed, is sent, and a gear (tire) revolves in the advance direction.

A robot moves forword with this, doesn't it?

8. That a robot is keeping moving forword all the while, the switch of the touch sensor runs against the wall, and enters, and a signal is sent to the controller board.

9. A signal ran against the wall and entered at touch sensor, so the previous younger generation switches over. A developing signal is sent to the gearbox from a controller this time, and a wheel revolves in the direction just now though.

10. Could almost all movement be understood? Thus you can make a robot move freely according to the signal from a sensor. There would be a lot of ones of not moving as I thought easily of course.

The overall balance which are airframe manufacturing , a sensor sensitivity adjustment and a programming, etc. in robot making is because it's necessary.

A challenge and failure are repeated as there is also a word as a try and an error.

We'll adjust it repeatedly.



-40-

# <u>6.実際に作ってみよう(実験)</u>

では、実際に作ってみます。しかし、いくら最も簡単にロボットが製作でき 動かせるキットで、既に半分できていると言っても、初めての人には、

### とても難しい!

初めての人は、何をしたらいいのかほとんどわからないことでしょう。 理由はいろいろありますが、

(1) プログラム作成ソフトのArduino に英語表記がある。

(2) 部品も英語表記がある。

などが挙げられます。もちろん、製品付属説明書にかかれている、「ロボットをつくろう」の通りに作れば動くロボットは製作できますが、理屈がわかっていなければ、それ以上の発展は望めないでしょう。

この章では、RoboDesignerの機能を順番に学習して、ロボットを自在に 動かすとはどういうことかを勉強していきます。

6 章では、実験をしながら、少しずつ、ロボットの組み立て方や、使用 方法を学習します。順番にやっていけば、必ずわかるようになりますの で、がんばってやっていきましょう。

## 6-1. パーツの組み立てとプログラム転送

ラジオペンチ

いきなり、ロボットを作っても、学習することが多すぎて、よくわからない でしょう。そこで、まず、一部の部品を使って実験装置を製作し、パーツ の組み立て方を学習します。それから、ロボットを動かすプログラムを 作成し、パソコンからプログラムを転送することを学習しましょう。これ は、もっとも基礎的で、最も重要なことです。必ず最後までやりましょう。

実験目的: パーツの組み立て方、プログラムの作成、転送を習得する 実験部品: パソコン(Arduino-IDE がインストールされたパソコン)

> コントローラボード(RDC-103) X 1 ギアードモータ(RDO-502)  $\times 1$ ユニバーサルシャーシプレート  $\times 1$ 電池ボックス(RDP-8093x4P) X 1 マイクロUSB ケーブル X 1 単3 電池  $\times 4$ ビス(M3 × 6)  $\times 8$ ビス(M3 × 10 で頭が皿) X 2 ナット(M3) X 6 樹脂スペーサ(M3x10) x 4 (RDC-103 に取り付けてあるものです) ドライバー ナット回し

#### Then, We'll make. (Experiment)

Then, We'll make actually. But for the person how much is who for the first time even if a robot can be manufactured most easily, and he says that half is made of the kit which can be moved already

Very difficult!

The case that a first person knows what to do almost no. It's well-founded variously.

It can span product accessory instructions of course, "We'll make a robot.", when making a street, the robot which moves can be manufactu red , but when not understanding a logic, We wouldn't have the chance of any more development.

It'll be studied whether it's what's thing to learn the function of RoboDesigner in turn and move a robot freely by the reason which says so while supplementing the part lack of the explanation on instructions by this text.

# Assembly of parts and program upload.

Even if a robot is made suddenly, it's often learned too much and we aren't known well.

So first We'll manufacture laboratory equipment using a certain part and learnhow to put together parts, and We'll learn to make the program to which a robot is moved and forward a program from a PC.

This is most basic and is the most important thing. We'll do until the end certainly.



工具:

#### 6.1.1. 組み立て時の注意点

RoboDesigner のパーツを使って、実験装置を組み立てます。組み立て るときにいくつかの注意点があるので、まずはそれから説明します。 ここで何より最初に覚えて欲しいのは、

#### 1. 締めすぎたら、壊れる

ということです。ロボットのパーツは、薄いプラスチックでできています から、きつく締めこんだら壊れてしまいます。ようするに、力加減が必要 だということです。ゆっくりでいいので、力を加減して作ってください。壊 れるくらいなら、締め込み不足でバラバラになった方がましです(また 組み立てればいいことですからね)。これは常に注意しておいてください。また、電子部品ですので、

#### 2.水でぬれた手で触るのも厳禁

配線がショートして、壊れる場合があります。汗かきの人は注意が必要 です。ジュースを飲みながら作業するなどもっての外です。もし、濡らし てしまって、動かなくなってしまったら、急いで拭いてください。

拭いたらドライヤーの送風か、扇風機の風で乾かしてください。温風だ と、パーツが壊れてしまいます。ちなみに、乾かしても動かなくなってし まったときは、最後の手段として、電池を外してから

#### きれいな水で洗う

水でぬれると壊れるといっても、実際にぬれた瞬間に壊れるのは、50% 以下の確率です(ぬれた物にもよりますが)。水が配線の間に入ってショ ートしたり、さびたりするのが原因です。乾かしても、配線の間に水に含 まれているゴミが残ってしまうので、結局ショートして動かなくなってし まうのです。そこで、きれいな水でよく洗ってから乾かすと、ゴミがとれ るので動くようになることがあるのです。

ただし、最後の手段なので、覚悟を決めてやってください。 それから、人と季節によるのですが、

#### 3.静電気にも注意

市販のICを使っていますので、それなりに静電気に対する耐性があり ますが、あまりにひどいと壊れるときがあるので注意してください。 作業を行うときは、静電気を溜め込まないようにスリッパなどは履かず に、作業開始前に作業台を触って静電気を放出しておきましょう。

#### 6.1.2. 実験装置の組み立て

まず、ユニバーサルシャーシプレートにそれぞれのパーツを設置しま す。どのパーツから付けていっても良いのですが、最初にモータから組 み立てておきましょう。モータは部品が入っていますので、使用できる ように部品の組み立てをまず行います。



組立てに必要なネジー式が袋に入っています。

使用部品 □ギアードモータ 2 個 □タイヤホイール 2 個 □コネクター付モータケーブル 2 本 □マウント金具 2 個 □長ネジ M3x30mm 4 本 □ナット M3 4 個



組み立て完成図

#### Careful point at the time of a system.

Laboratory equipment is put together using parts of RoboDesigner.

#### 1. If We finish too much, it breaks.

Because parts of a robot are made of light plastic, if it's tightened up tight, it breaks. In short it's said that they need the power degree.

It's slowly and good, so please moderate and make me the power. It's lack of tightening up and would rather be dispersively (It's because it's that it should be put together again.) rather than it breaks. Please be always careful about this.

# 2. It's an electronic component, so touching by hand wet with water is also prohibited.

Wiring short-circuits and sometimes breaks. A sweating person needs attention. Such as working while drinking juice, it's outrageous. If it's wetted, and it doesn't move any more, please wipe it up quickly. If it's wiped up, please dry by the style of the ventilation of a hair dryer or the breeze from an electric fan, because a hair dryer is ventilation, please be careful. If it's warm breeze, parts break.

By the way, when having not moved any more even if it's dried, a battery is washed with clean water as the last means after I take off.

Even if I say that an electronic circuit breaks when I get wet with water, the moment I got wet actually, it's less than 50 % of probability that a controller board breaks.

Water enters during wiring, and it's done because of short-circuiting and rusting.

Even if it's dried, the trash included in water during wiring is left, so it short-circuits after all and doesn't move any more. So when it's dried after it's often washed with clean water, trash comes, so it starts to move. But, they're the last means, so please be ready.

# 3. Please be also careful about static electricity.

Over-the-counter IC is used, so there is tolerance to static electricity to some degree, but when it's too terrible, there is time which breaks, so please be careful. Without putting on slippers so as not to amass static electricity when working, before beginning to work, I'll finger a workbench and release static electricity.

#### Assembly of laboratory equipment.





#### 6.1.2.1. ギアボックス組立て ギアボックスを左右対象で作成します。 (1)マウンター取付 [Assemble of a Mounter] ギアードモータにマウンターを取り付けます。 (検査のため取り付けている場合もありますが、その場合ナットを外して、マウン ターの方向性を図に合わせて入れ替えてください。) (図ではネジ穴が上を向いています)

マウンター金具には方向性が あります。右図のネジ穴の方向 を確認して取り付けてくださ い。左右対称になるように作り ます。



(2)タイヤホイールの組み込み [Assemble of a Tire Wheel]



②回転軸を支えてホ イールを差し込みま す。

③最後に、図のように、出力軸の反対側を 台に当てて、タイヤを上から手の平で押 さえて差し込みます。

ホイールの組込み図 Fig Wheel assembly

①モータ出力軸とホイールの差込口の長円形 の方向を合わせます。



## ギアボックス内部ギ アに無理な力を加え ないように注意くださ



## Geared motor assembly A gearbox is made by symmetricalness.

(1). Mounter assembly Mountinghardware( mounter) is assembly in the geared motor.



Down view



Side view



完成品:2個作ります。 Finished goods: 2 are made.



#### <u>6.1.2.2. コントローラボード確認</u>

コントローラボードRDC-103の裏を触ってください。 チクチクする と思います。基板に部品が半田付けされたものは、部品の足が裏側に少し はみ出しています。ここで重要なのは、

そのままユニバーサルプレートにつけると壊れることがある

ということです。無理やり締めこむと、チクチクの部分(基板裏面の突起)が 取付るプレートに押し付けられて基板が破損してしまいます。

そこで、チクチクの部分だけ(基板裏面突起の高さ) 隙間を空けるように取り付けます。隙間の部分にスペーサを挟み込みます(青い矢印の部分)。こうすると、スペーサが隙間を作ってくれるので、基板が壊れることはありません(と言っても、締め込みすぎたら壊れてしまいます)。写真では10mmスペーサをはさんでいますが、裏側についている部品などで隙間が不足する場合は、スペーサを長くしてください。



では、取り付けていきます。ネジの取り付けは、 ・ ドライバーで行います。 ネジの取り付けは、 ・ ドライバーで行います。 ス ペーサがすべる場合は、 ナットドライバー、又は、 ラジオペンチで挟むと便 利です。

この要領で、写真の位置にある4箇所の穴にネジM3x6mmで樹脂スペーサM3x10mmを止めてしまいます。緩んでいると、あとで外れたりしますが、あまりきつく締めこんでしまうと、基板が割れてしまうので、ほどほどにしてください。

4つの穴全部に取り付けたら終了です。



ネジ/スペーサ 取り付け

#### 6.1.2.3. 実験機組み立て

モータ回転実験時に実験機が移動しないように、タイヤを宙に浮かせた形 の構造物を作ります。 右の図を参考に組み立ててください。

シャーシプレートヘギアードモータ取付 1.右図の赤矢線のシャーシプレート位置に、ギアードモータを超低頭ネジ で取り付けます。(片方2か所、左右両方で4か所)

	使用部品	使用数		
6	超低頭ネジ M3x4mm Low Head Machine Screw	4本		
・超低頭ネジは、シャーシプレートに同梱しています。				
・超低頭ネジは	超低頭ネジ M3x4mm Low Head Machine Screw	4本 ます。		

#### 2. 四隅に支柱を取付けます。

	使用部品	使用数
	樹脂スペーサー M3x20mm Resin spacer	4本
8	ナベ長ネジ M3x30mm Long screw	4本
		•



スペーサ取り付け例



1.ギアードモータ取付位置



2. 支柱取付位置



実験は、支柱を床に向けて使い、ホイールは 接地せず浮いています。

全体をレイアウトしてみましょう。電池ボックスは浮かせ る必要が無いので、そのまま置いてみます。

#### 6.1.2.4. 実験装置の配線

組み立てが完了したら、次は、実験装置の配線を行い ます。今回の実験装置で配線するのは3個所です。それ に、パソコからの配線も必要になりますので、合計で4 節所の配線が必要になります

箇所の配線が必要になります。

いる
黒
る
白
い黒る白

#### モータコードの取り付け

表の上から順番に配線を行いましょう。 まずは、左モータとコントローラボードの M1、右モータとコントローラボードのM2 コネクタを接続します。

このモータは、逆につないでも逆に回るだ けですから、今回に限れば極性を気にせず に接続します。接続の方法は、ソケットにコ ネクタを奥まで差し込んで、固定します。

# M1 M2

図11: 接続の概略図

#### 電池ボックスからのコードの取り付け

電池ボックスの配線は、赤と黒です。赤をソケッ トの⊕に、黒をソケットの⊖に接続します。 電源のコードを逆につなぐと、一発で壊れ ることがあるので十分な注意が必要です( このキットは逆につなげないようにコネク ター式にして壊れにくいようにはできてい ますが注意が必要なことに変わりはありま せん。)



逆につないだまま電池を装着し、長時間放置すると電源がOFFのままでも 電池が発熱しますので注意して下さい。ひどい場合は電池の発熱により電 池ボックスの樹脂が変形したり、電池が発煙することもあります。

逆につないだらどうなるのだろう?と、コネクター部分を分解し、逆接続の実験などなさらないようにしてください。

## マイクロUSB ケーブル接続

パソコンとコントローラをマイクロUSB ケーブルで接続します。 パソコン側:ドライバーソフトのインストールを行った差込口にUSB ケーブ ルを接続します。

\* Windows の場合、USB ポートごとに、ドライバーソフトのインストールが必要です。 常時使用するUSB 差し込み口にはシールなどで目印を貼り、その差込口に対してドライバ

ーソフトのインストールを行っておきます。他の差込口 を使うときには違うデバイスとしてWindouws が認識 し、さらにその差込口でのドライバーソフトのインスト ールが必要となりますので、注意してください。

以上で、実験装置の配線が終了しました。 配線に間違いが無いか、もう1 度確認してく ださい。



#### Wiring of laboratory equipment

After your assembly has been completed, please wire laboratory equipment. You're this laboratory equipment and it's 2 to wire. And we also need wiring from a PC, so we need 3 points of wiring in total. Installation of a cable from a battery housing

Next, V1 of a battery housing and a controller board is connected. It's attention here.

A power supply has  $\oplus$  Plus and  $\oplus$  Minus, so please be careful.

When a cable of a power supply is connected reversely, it breaks by blow, so enough attention is needed.

(We decide not to link this kit reversely in the connector system, and, it doesn't break, seem for, it's done, but a change doesn't give an instruction to a necessary thing.)

When a battery is loaded while connecting conversely, and it's left long, a battery is also exothermic by the condition by which a power supply is off, so please be careful. When being terrible, resin of a battery housing is transformed by fever of a battery.).

Wiring of a battery housing is red and black.

Red has been connected to  $\oplus$  of a connector and black has been connected to  $\ominus$  of a connector.

I suggest you connect conversely, will it be? Please hold a question, take a connector part apart and experiment on a reverse connection.

It breaks.

#### Wiring

If wiring ends, please confirm the color accurately.

Above, wiring of laboratory equipment has ended. In the making by which wiring of MicroUSB cable with which a PC and laboratory equipment are connected is a program, after We initiate, We'll do.

Please confirm whether it's without mistakes in wiring again.

JAPAN ROBOTECH LTD.®

## <u>6.1.4. プログラムの作成</u>

では、次に、ロボットを動かすためのプログラムを作成しましょう。 RoboDesignerのコントローラボードは、小型のコンピュータを内蔵してい て、そのコンピュータ用のプログラムを作成するわけですが、ここで問題が 1 つあります。そもそも、プログラムとは何でしょう?

- プログラムとかプログラミングとかはよく耳にする言葉ですが、実際はどの ようなものか説明されることは、少ないと思います。まず、プログラムを考え る前に、1つ知っておかなければならないことがあります。そもそも、コンピ ュータとは、魔法の箱ではない
- 2.大学関係者は、コンピュータではなく「計算機」と呼んでいます。なぜなら、コンピュータとは、与えられた式に従って、単純計算を超高速で行う機械に他ならないからです。すごく難しい計算を、あっという間に計算してしまいますが、それは計算式を誰かが与えることが前提です。要するに、「○○○な計算を1億回繰り返せ」ということが簡単に行えるだけで、○○○の部分は、誰かが考えないといけないのです。その、計算式のことをプログラムと呼び、プログラムを作ることをプログラミングといいます。簡単に言えば、「コンピュータにどうやって計算すればよいかを書いた内容」がプログラムなわけです。このプログラムは、大変重要で、はっきり言えば、機械の部分は多少いい加減でも動きます(動きや耐久性は悪いでしょうが)。しかし、プログラムを間違うと、まったく動きません。また、ロボットサッカーなどに出た場合、勝負を分けるのは、90%がプログラムです。どんなに高速で動けても、味方を攻撃するようでは、どうしようもないでしょう?ですから、プログラムの内容を良く理解し、何度も調整を行うことは大変重要なことなのです。
- 3.では、早速プログラムの作成、つまりプログラミングを行いましょう。RoboDesignerの場合、プログラムは専用の作成ソフトArduino-IDE,ArduBlock, Scratch の3種を使って作成します。これがあれば、難しいコンピ ュータ言語(プログラムを記述するための言葉)を覚える必要がありませ ん。それだけでも、かなり簡単にプログラミングを行えます。

まず、3種類のプログラム開発環境をパソコンにインストールしましょう。その手順は、IDE-DISKの中の「インストールガイド」の手順PDFを参照してください。インストールが終了したら、さっそく作成に移りましょう。

## <u>6-2. Scratchでプログラム実験</u> 6.2.1. Scratch を起動する。

1. windows の場合:

[WinScratch1.4-stemdu01]-->[Scrat ch]の中の、[Scratch4STEMDu.image] を、[Scratch.exe](猫顔マーク)へ、ドラッ グ&ドロップして起動します。

2. Mac OS X の場合: 配置した [Scratch\_14\_for\_STEM\_Du\_01] の中の、[Scratch4STEMDu.image] を、ダ ブルクリックして起動します。





#### Making of a program

Then, next We'll make the program to move a robot. A controller board of RoboDesigner has a small computer builtin and is the reason which makes a program for the computers, but there is 1 problem with here. What is a program?

1. A word as a programming is the word heard well, but We think it's little to explain what actual condition is. First before considering a program, We have to know 1. After all a computer isn't a box of magic.

2. The university person concerned is calling "calculated machine", not a computer.

A computer is because there are no other ones in the machine calculated at superspeed simply with the system to which it was given. Very difficult calculation is calculated suddenly, but it's presupposing that someone gives that an arithmetic expression.

In short someone can just do to say "  $\bigcirc \bigcirc \bigcirc$ repeat calculation 100,000,000 times." easily, and has to consider a part of  $\bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc$ . The arithmetic expression is called a program. It's called a programming to make a program.

Briefly speaking, "the contents which described how to calculate in a computer" but the reason which is a program.

The part which is a machine this program is very important, and when saying clearly, a little, it's irresponsible, it moves. But when We make a mistake in a program, it doesn't move at all.

When having gone out to robot soccer,

90% is a program for ending in a draw. Soit 'sthat it's very important to understand the contents of a program well and adjust it any times.

3. Then, We'll do making of a program in other words a programming right away. In case of RoboDesigner, a program is made using 3 kinds of exclusive making soft Arduino-IDE, ArduBlock, Scratch.

When there is this, it isn't necessary to remember difficult computer language (the word to describe a program). Only that can be programed quite easily.

First We'll install 3 kinds of program development environment in a PC.

Please refer to procedure PDF of "installation guide" in accessory DISK for the procedure.

6.2.1. Scratch is started.

1. In case of windows:

[WinScratch1.4-stemdu01] >drag and drop does and starts [Scratch4STEMDu. image] in [Scratch] to [Scratch.exe] (cat facial mark).

2. When it's Mac OS X:.

[Scratch4STEMDu.image] in arranged [Scratch\_14\_for\_STEM\_Du\_01] is doubleclicked and started.



3. まずは、使用言語の設定をします。Scratchの画面構成を確認し、上部の メニューバーの言語設定のメニューで設定ください。

 $\oplus$ のアイコンをクリックすると、[言語を設定する(Set language)]のサブ ウィンドウが現れます。50種ほどの言語が準備されています。 (日本語の場合、ひらがなだけの「にほんご」と、漢字を含む「日本語」の2 通りの表記が選べます。)

## 6.2.2. Scratch 画面の構成

1.準備されている各種のメニューと、スクリプト(プログラム言語の一種で「 ブロック」と呼びます。)を確認してください。

3. First, a use language is established. Please confirm the screen structure of Scratch of the next page and establish it by the menu of the linguistic setting of a menu bar in the upper part.

When an icon is clicked, a subwindow of [ (Set language) which establishes a language] shows. (In case of Japanese, transcription of 2 ways, "NIHON GO" only of hiragana and "Japanese" including a

kanji can be chosen.





#### <u>6.2.3. プログラム作成</u>



- まずは、サンプルスケッチを開 いてみます。[ファイル]▷[開く]
   ▷[プロジェクトを開く]▷[例]
   をクリックし、出現するサブ ウィンドウの [Animation] の中 に 8 種類のアニメーションが準 備されていますので、どれかを 選び、OK ボタンで確定します。
- 選んだサンプルスケッチのプロ グラムが読み込まれてプログラ ムエリアに配置されます。
- 3. ブロック中の **内** 初月す かれにき がプログラム実行アイコンです。
- 4. ステージの右上にある の縁旗も同じくプログラム実行ア イコンです。となりの赤丸はプログラム停止アイコンです。

1940

-

LANDAR!

📖 がクリックされたとき

次のコスチュームにする

1 秒待つ

- 5. [実行][停止]を利用しプログラムを繰り返して、アニメーショ ンを実行してみてください。
- 6. プログラムブロックの中の[1 秒待つ]の数値を変更してみてく ださい。マウスでポインターを移動し窓の白い部分の数字を指 定しクリックすると、数字が変更できるようになります。数字 を上書きしたら[Enter] キーを押して確定します。 たとえば、[3 秒待つ]などに上書き変更して実行するとアニメー ションに変化が起こることが確認できます。
- 7. 他のサンプルスケッチも開いてみます。「ミャー」と声を出すス ケッチもあります。
- サンプルに手を加えて、独自の動きをするスケッチを作成して みましょう。完成したアニメーションは「発表モード」で全画 面表示で見ることが可能です。

1. A sample sketching will be held. [File]--> [It opens.]-->[A project is held.]--> 8 kinds of cartoon film is prepared in [Animation] of a subwindow which clicks [example] and appears, so something is chosen, OK, We fix by a button.

2. A program of a chosen sample sketch is read and arranged by a program area.

3. Blocked "green flag" is a program execution icon.

4. That there is a stage in the upper right, green flag is also a program execution icon. The next red circle mark is a program stop icon.

5. Please use [execution] and [stop], repeat a program and carry out a cartoon film.

6. In the program block is [Wait for 1 second.], please change the numerical value.

When We move a pointer by a mouse and the partial number with a white window is designated and clicked, the number can be changed now.

If a number is overwritten, We press a  $\left[ \text{Enter} \right]$  key and fix.

7. Other sample sketches will also open. There are also "Mya~" and a sketch which raises a cry.

8. We'll make an improvement on a sample and make the sketch which does an original movement. It's possible to judge a completed cartoon film from full display by "announcement mode".

It has been already accustomed to a program creation, has not it?

#### プログラム作成にもう慣れましたね。





し、クリック実行します。 2. ステージに「ScratchBoard 監視板」 が出現します。



- 3. 「ScratchBoard 監視板」を右クリックし、 「シリアルか USB のポートを選択」を選 択すると、通信ポート(COM ポート」 リストが現れますので、調べておいた COM 番号に設定します。
  - ・通信設定完了すると、「切」→「入」 へ変化し、ボード搭載センサのデー ター値が表示されます。



4. 使用準備ができましたので、確認実験です。 ・RDC のスライダ-を左右へ動かしてみます。→監視板 / スライダ-数値が変化します。



#### Controller board and connection experiment.

A controller board is used as Sensor - Board in Scratch

#### Initiation method of Sensor - Board

(1). [Preparations by a PC]

1. Controller board RDC is connected to a PC (PC)

2. [PC]---> [hardware], the COM number is confirmed by [device manager].

(2). [It's set as Sensor - Board.] Please write a sketch in RDC and set it as Sensor -Board because I'll can execute a program of Scratch by a controller.

1.[Arduino-IDE]--> [example of a scratch]--> [STEMDu]--> "the one of the Type\_1] please open [ScratchBoard.ino].

2. [Arduino-IDE], please set as the COM number which checked [tool] in [serial port].

3.Arduino-IDE upload key is clicked and it's written in a microcomputer board (RDC).

4. When You succeed in writing in, a message is indicated.

(3). [Preparations in Scratch] communication setting is performed.

- -

(3) 明るさ

101-12

スライタ

音

UNVERSION OF

マイコンボードへの実き込みが完了しました。

7 N

ηtî

ボタン

1. When a sensor block is chosen and rightclicked, the menu appears. "Of a ScratchBoard watch board, indication" is chosen and a click is executed.

2. "ScratchBoard watch board" appears in a stage.

3.When "ScratchBoard watch board" is right-clicked and "of a serial or a port in USB, choice" is chosen, a communication port list shows, so please set it as the checked COM number.

\* When communication setting is completed, "off"--> changes into "on", and the dater value of the sensor with a board is indicated.

4. Use preparations are done, so it's a confirmation experiment.

\* Please change slider-of RDC to left and right.

-> A watch board/a slider - a figure changes. \* Please apply light to a light sensor and change the strength.

-> A watch board/a brightness figure changes.

\* RDC is moving as ScratchBoard with this.

The sketch which includes motor control, Excuted, make, when, a connected motor begins to move, so please be careful so as not to drop it from the top of the desk.



- ・ライトセンサへ光を当てて強弱変化させてみます→監視板 / 明るさ数 値が変化します。
- ・これで、RDCはScratchBoardとして動作していますので、モータ 制御などを含むスケッチを実行させると、接続しているモータが動 き始めますので、机の上から落としたりしないように注意します。

#### <u>6.2.5. スクリプト例を使用して動作実験</u>

(1). ScratchProject の Example4-1 を開いてみます。

- 1. 〇〇センサの値の3か所を「スライダー」に選択変更します。
- このスクリプトではスタートがあかりックされたまです、Scratch 画面ステージ右肩に配置されている「緑色の旗」をクリックして、スクリプトを実行します。
- 3. 実行中は、周囲が白枠で囲まれま す。
- RDC のスライダーを動かして監視 板の数値を観察してください。
- RDCのmotor1に接続しているモータの 動きが「しきい値」を境にして、プログラ ム通りに回転を変化させながら動くことが 確認できます。

#### <u>6.2.6. Scratch では、接続した状態のま</u>

<u>ま、マイコンボード RDC が動作します。</u>

- 1. Scratch では、常にパソコンと RDC を接続して使用します。
- 2. RDC のパソコン接続を外して、自 律型動作をさせるときは、ArduBlock をご利用ください。

#### <u>6.2.7. Scratch 使用時のロボットで多く使うスクリプト</u>

#### (1). モーター

- モータのブロックは、[編集]▷[モーターの ブロックを表示する]をクリックします。
- 2. ブロックパレットの「動き」リストに追加されます。
- 3. モータは A,B の 2 種類を使えます。
- 4. Scratch と RDC のモータ端子

Scratch	RDC
motorA	M1
motorB	M2

- (2). センサー
  - 1. センサーは下記の5種類を 選ぶことができます。
  - センサ ブロック左側の□に チェック入れると,センサー 値を調べるマークが、右側の ステージに配置されます。
  - 3. 接続している RDC の計測値が表示さ れます。
  - この値を、「しきい値」分岐条件の参考とします。



1 77-12

itar 🔝 off

預離

motor

算機

r 🕛 ann

-00

А

В

|泪籠三 センザーの 何

ックを表示する

## Experiment on movement using a script example.

(1). Example4-1 of ScratchProject is read. During carrying out, the environment is surrounded with a white frame.

Please change a slider of RDC and observe the numerical value of the watch board.

A movement of the motor connected to motor1 of RDC can confirm the thing which moves while changing a revolution into a program street on reaching "threshold value".

# You can experiment on movement using a script example.

(1). Example4-1 of ScratchProject is read.

1. Choice change 3 points of sensor value to "slider", please.

2. A start is a green flag by this script, so the "green flag" arranged by a Scratch screen stage right shoulder is clicked and a script is carried out.

3. During carrying out, the environment is surrounded with a white frame.

4. Please change a slider of RDC and observe the numerical value of the watch board.

5. A movement of the motor connected to motor1 of RDC can confirm the thing which moves while changing a revolution into a program street on reaching "threshold value".

# A condition of the connected position and microcomputer board RDC move in Scratch.

1. A PC and RDC are always connected and used in Scratch.

2. When removing a PC connection of RDC and making them do autonomous movement, please use ArduBlock.

# The script which is used much by the robot which is at the time of Scratch use

#### (1). Motor

1. [Edit] clicks  $\triangleright$  [A block of a motor is indicated.] in a block of a motor.

2. It's added to the "moving" list of block palettes.

3. A motor can use 2 kinds, A and B.

4. Motor terminal for Scratch and RDC

(2). Sensor

1. A sensor can choose the following 5 kinds.

2. When  $\Box$  on the sensor - block left side can be made a check on, Mark who checks the sensor value is arranged in a right stage.

3. A measured value of connected RDC is indicated.

\* This numerical value is made reference of the "threshold value" condition.



スライダー センサーの値 💶

(音 センサーの値 🔲

明るさ センサーの値 💶 🛛

傾き センサーの値 💶 🛛

|距離 センサーの値 👥

## **ROBO**DESIGNER<sup>®</sup>



-51-



#### <u>6-3. ArduBlockでプログラム実験</u> <u>6.3.2. ArduBlock を起動する。</u>

- Arduino-IDE をインストールした PC を準備します。
- 2. 使用 PC と実験機のコントローラボー ド RDC をマイクロ USB ケーブルで 接続します。
- 3. 使用 PC のデスクトップに、[arduino-exe ショートカット] が配置されているはずで すので、それをクリックすると、Arduino が起動します。
- 4. IDE の [ ツール ] → [ArduBlock] を 選択し、クリックします。





#### ArduBlock is started.

1. Please prepare the PC in which Arduino-IDE was installed.

2. Connect controller board RDC of a use PC and an experimental unit by my black USB cable.

3. [arduino-exe short cut] should be arranged by a desktop of a use PC, so when that's clicked, Arduino starts.

4. [Tool] of Arduino-IDE-> Please choose and click [ArduBlock].

右の画面が、立ち上がった ArduBlock です。



#### 6.3.3. ArduBlock プログラム作成 [1] モータを回転させてみる。

ブロックを配置してみましょう。今回、はじめに作成するのは、 永遠にモータを正回転方向方向に低速で回転させるプログラムです。そ の配置は次のようになります。

- 左列アイコンパレットの一番上に ある { 制御 } をクリックした時 に出現するサブウィンドウから [ <u>ずっと(メインループ)</u>] を選択し 中央のプログラムフィールドにド ラッグ&ドロップします。
- 左列アイコンパレット { STEM Du }をクリックした時 に出現するサブウィンドウから[ <u>モータ</u>]を選択し中央のプログラ ムフィールドにドラッグ&ドロッ プします。
- ドロップしたばかりの [モータ] ブ ロックは M(モータ) 1、スピード 255 のパラメータになっています。

 ・モータは実験機で接続した M1 を 使いますので、1のままです。

 スピードは、最大に速いモータス ピードが PWM 値 255 ですから、
 半分くらいの回転スピードで実験 するために 130 と書き換えてみ ましょう。数字を範囲指定して上 書きし ENTER キーで確定します。



# We'll make a ArduBlock program creation [1] motor revolve.

The left screen is ArduBlock which stood up.

We'll arrange a block. To make it this time and first?

The program which makes a motor revolve at low speed in the positive direction of rotation direction eternally. The arrangement starts to be the next.

1. When clicking {**Control**} of the left side icon palette, you designate [<u>repeated (main</u> <u>loop</u>)] from the subwindow from which you emerge, and please do drag and drop in a central program field.

2. When clicking the left side icon palette, {**STEM Du**}, you choose a motor from the subwindow from which you emerge, and do drag and drop in a central program field.

3. The  $[\underline{motor}]$  block which has just dropped is a parameter of motor 1, speed 255.

 $^{\ast}$  M1 connected by an experimental unit is used, so a motor is a condition of 1.

\* The speed is biggest, because the fast motor speed is PWM value 255, please rewrite with 130 to experiment with the revolving speed which is about half.

Please specify the range of a number, overwrite and fix by an ENTER key.



- 4.1で配置した[<u>ずっと(メインルー</u> <u>プ</u>)ブロックのパーツ位置に収ま るようにドロップすると「カチッ」 と音がして、タイルが、ループに はまり込み結合します。
- 次にアイコンパレット { 制御 }をクリックしたときに現れるサ ブウィンドウから [ミリ秒待つ] を 中央のプログラムフィールドにド ラッグ&ドロップします。
- [ミリ秒待つ]を、3で[モータ] を結合させた[ずっと(メインルー プ)]ブロックのパーツ位置に追 加で収まるようにドロップすると ループ枠が広がり「カチッ」と音 がして、追加ブロックが、ループ にはまり込み結合します。

ループ枠が大きくなっていきま す。ループ枠はプログラムの大き さに合わせて変化します。



7. 今、{「モータ1をスピード 130 で 1000 ミリ秒回す」ことを、「ずっ と繰り返す」} プログラムが完成しました。

#### プログラムは意外と簡単ですね。

\*モータは何番を使うか、スピードはどの速さで回すか、繰り返す時間 は何ミリ秒とするかなどのパラメータ設定を調整し、自分の思い通り に動くように調整することが重要な要素です。

#### <u>6.3.4. プログラムアップロード前準備</u>

#### 1. 出力軸旗立

 ・モータを回す実験をしますが、モータだけの回転では 回っている状態の確認が難しいので、実験機ギアボッ クスの出力軸(タイヤ側面)にラベルなどを利用して 印を付けておきます。(少し色付きのラベルを利用し た方が回転が見えやすいかもしれません)

#### 2. 通信ポート確認

- ・Arduino-IDE の [ ツール ] ▷「マイ コンボード」設定の確認、「シリア ルポート」の接続 COM 番号設定を します。
- ・この段階で、
   「マイコンボード」に●マーク、
   「接続 COM 番号」に √マーク
   がついていることを確認してください。ついていないと通信ができませんので、マウスを使って該当箇所をクリック指定してマークを付けてください。
- この手続きを、必ずしてください。しないとプログラムのアップロードができません。エラーになります。

#### 3.作成プログラム保存

・[保存]か[名前をつけて保存]の いずれかで、作成したスケッチ(プ ログラム)を保存します。 ※保存したプログラムは、いつで も読み込むことが可能です。







4. That it drops so that it may be satisfied with 1 in the location of parts of the arranged [repeated (main loop)] block, I hear sound, and a tile fits into a loop and is crowded, and combines noise with "Cachi".

5. From the subwindow which shows when you clicked an icon palette {**Control**} in the next, [<u>A millisecond, wait.</u>] Please do drag and drop in a central program field.

6. [<u>A millisecond, wait.</u>] when it drops so that it may fit into the location of parts of the block which made [<u>motor</u>] combine [<u>repeated (main loop)</u>] additionally, a loop frame spreads, and 3 makes a noise with "Cachi", and an additional block telescopes in a loop and combines.

\* A block, every time it drops, a loop frame is becoming big. A loop frame changes according to the size of the program.

7. {It's repeated to dial motor 1 for 1000 milliseconds in speed 130.} a program has been completed.

## That the program is unexpected, it's easy, isn't it?

\* It's an important element to adjust it as a motor adjusts parameter setting of how many milliseconds to set time to repeat by which speed you turn the speed to to what number to use, and may move to its concerned street.

#### Preparations before program upload

1. A flag is put on the output shaft(wheel).

\* The experiment to which a motor is turned is done, but confirmation of the state that only a motor is running by a revolution is difficult, so in an output shaft of an experimental unit gearbox, using a color tape, a flag is put.

#### 2. The communication port is checked.

\* Confirmation of [tool]--> "a microcomputer, board" setting of Arduino-IDE and COM number setting of "serial port" are done.

#### \* At this stage.

• mark "microcomputer board". Imark "the connection COM number". Please confirm that there is a mark. When there isn't a mark, a communication line doesn't connect.

A click designate a relevant part using a mouse, and please mark.

#### \* Please be sure to do this procedure. When it isn't done, you can't upload a program. It'll be an error.

3. Making program preservation

\* A made sketch (program) is preserved by one of [Save] or [Save As].



#### 6-3-5. プログラムアップロード

- 1. ArduBlock  $\mathcal{O}$  [Arduino  $\mathcal{C}$   $\mathcal{T}$ ·IJ プロード]をクリックし、作成 したスケッチ(プログラム)を、 Arduino ヘアップロードします。 ・アップロードしたスケッチは、Arduino-IDE に「C ++言語」で表示されて、コンパイルされます。
- 2. コンパイル後は、すぐにマイコン ボードへの書き込みが始まります。
- 3. コントローラボード側がアップ ロードの受信をしていることを確 認する方法は、アップロードの 最中にコントローラボードの電 源表示(青色ON)以外の2つの LED(RX 赤色 /TX 黄色) が点滅す ることで、確認できます。
- 4. アップロード受信が終了したら RX 赤 色 /TX 黄色 LED の点滅が止まり、電源 表示(青色 ON)だけが点灯しますので、 アップロード時はコントローラボード のLEDを見て確認してください。
- 5. 成功すると「マイコンボードへの 書き込みが完了しました。」と、下 段のメッセージ欄に表示されます。
- 6. 通信不成功の場合は**エラーメッ** セージを赤色表示

Couldn't find a Leonardo on the selected port. Check that you have the correct port selected. If it is correct, try pressing the board's reset button after initiating the upload. ・マイコンボードを USB ポートへ接続して

いなかったり、(a) 通信ポート COM (No) 設定が間違っていたり、(b) ボードの動作 環境が合っていなかったりすると、通信 エラーが発生して、マイコンボードへの 書き込みが失敗します。

[ツール] D 「マイコンボード」に●マーク、「接続 COM 番号」に < マークがついている ことを確認してください。

- A). Arduino メニューバーの [ ツール ] ▷ [ マイコンボード ] メニューから接続したい Arduino ボードの名前を選びます。(RDC-103 は、STEM Du/RoboDesigner+ RDC-102 w/ATmega32U4 - 3.3V 8MHz)
- B). Arduino メニューバーの [ ツール ] ▷ [ シリアルポート ] メニューから接続したい ポート番号を選びます。Windows の場合は COM3 といったような名前になって いて、数は3以上の場合もあります。
- C).「2-4. ドライバーインストール」の項を参照して適切なドライバーをセットください。
- 7. プログラムタイピングミスの場合な 🗟 sketch bet@kil Ardune 105 rg ど、Arduino の該当行が黄色ハイラ **12** イト表示で警告されます。 ・プログラムで使用できる文字は「半角英 文字」と「半角数字」のみです。全角文字は、 or setup o プログラム文ではエラーとなり、該当行が 黄色マークで警告されます e la sel ▶エラーメッセージを確認して、対策を施 して、問題を解決した後で、再度、マイ コンへの書き込みを行います。 8. 書き込み完了後、すぐにマイコンボード
  - はプログラムが実行されます。 ・今回のプログラムは、{「モータ1をスピー ド 130 で 1000 ミリ秒回す」ことを、「ずっ と繰り返す」} プログラムでしたので、すぐ に M1 に接続している実験機モータが回転 を始めます
  - ・接続した実験機のギアボックスは回転しまし たか?
  - ・先ほど、タイヤ側面にラベルなどを利用し印を付けるように準備しましたので、回転方向も 含めて回転している状態が確認できると思います。 USB ケーブル接続時には、電源供給は USB ケーブルを介して PC から
- 9 行われていますので、停止させたい時には USB ケーブル接続を外します。 ・電池で動作させている場合は、電源スイッチを OFF にします。







#### Program upload

1. Please click [to Arduino, upload] and upload a sketch (program) to Arduino.

\* An uploaded sketch is shown to Arduino-IDE by "C language", and is compiled.

2. After compiling, writing in to a

microcomputer board will start immediately. 3. The way to confirm that the controller board side is receiving upload is that 2 LEDs besides the power supply indication of a controller board (blue on) (RX red/TX yellow) flash on and off during upload, and it can be checked.

4. If upload reception ends, a flash of a RX red /TX yellow LED stops, and only power supply indication (blue on) lights up, When uploading it, please see and check the LED of a controller board.

5. When it succeeds, you indicate "Writing in to a microcomputer board has been completed." in a message space in a lower berth.

#### 6. Error message

Couldn't find a Leonardo on the selected port. Check that you have the correct port selected. If it is correct, try pressing the board's reset button after initiating the upload.

1) A microcomputer board isn't connected to a USB port.

(a) communication port COM (No) The setting is wrong.

(b) working environment of a board isn't right.

(c) then a communication error occurs, and writing in to a microcomputer board is failed.

A).Choose the name of the Arduino board you'd like to connect from the menu of the Arduino menu bar, [tool]  $\triangleright$  [microcomputer board]. (For RDC-103, STEM Du/RoboDesigner+ RDC-102 w/ ATmega32U4 - 3.3V 8MHz)

B). You choose the portnumber you'd like to connect from whole menu of the subwindow in which is a Arduino menu bar [tool] ▷ [serial port].

· It's COM3 and the name I needed in case of Windows

C). Please refer to an item of "2-4. Driver installation" and set an appropriate driver.

2). After you confirmed the error message and did a measure, and settled a problem, you write notes in a microcomputer once again.

7. After writing in completion, a program will be executed by a microcomputer board immediately.

\* This program, {Of "Motor 1 is dialed for 1000 milliseconds in speed 130.", "it's repeated."}, it was a program, so the experimental unit motor which will be connected to M1 immediately begins to revolve.

\* Did a gearbox of a connected experimental unit revolve?

\* I prepared as a tape was used for a gearbox output shaft and a flag was put a short while ago, so I think the state that I'm circulating including the direction of rotation can be confirmed.



2000 the set of a statistic statistic statistic f(t) , f(t) = f(t) = f(t) , we show that 01.18.20 - **1** - 1 - 1 - 1 - 1



#### <u>6.3.6. 実験機でプログラム実験</u>

1. 前項で、{「モータ1をスピード 130 で 1000 ミリ秒回す」 ことを、「ずっと繰り返す」} プログラムを作りました。



 2. 今度は、モータを逆に回転させるプログラムに挑戦してみます。左列ア イコンパレット { STEMDu } をクリックし、出現するサブウィンドウ から [後進(バック)] を選択し中央のプログラムフィールドにドラッグ &ドロップします。



3. [後進(バック)] を、前項で [モータ] を結合させた [ずっと (メインルー <u>プ)</u>] ブロックのパーツ位置に追加で収まるようにドロップするとルー プ枠が広がり「カチッ」と音がして、追加タイルが、ループに はまり 込み結合します。



\*タイルをドロップするたびに、ループ枠が大きくなっていきます。ルー プ枠はプログラムの大きさに合わせて変化します。



- 4. 今、{「モータ1をスピード130で、後進(バック)することを「ずっ と繰り返す」}プログラムが完成しました。
- 5. ArduBlock の [Arduino にアップロード]をクリックし、作成したスケッ チ(プログラム)を、Arduino ヘアップロードします。
  ・アップロードしたスケッチは、Arduino-IDE に「C++言語」で表示されて、コン パイルされます。上の2種類のプログラム比較用にコードを右に示しますので、後 進(バックワード)を加えたことによるCプログラムの変化も参考にします。
- 先ほどは、モータスピードを130で設定しましたが、今回の逆回転時にはスピードは最大の255設定のままですので、モータの回転方向が逆になりギアボックスの回転スピードが変化したことに気が付きます。
- 7. Arduino-IDE にコンパイルされたコードを直接上書きしてプログラム変 更することも可能です。実験的に数種類のモータスピードに変化させ ながら、プログラムを実験機に アップロードし、モータ回転の変化を 確認しましょう。

STEMDU\_robot.motor(1,<u>130</u>)のアンダーライン部分がモータスピードです。 0~255の範囲での PWM 設定が可能です。(Pulse Width Modulation)

前進、後進を繰り返すプログラム例



・プログラムで使用できる文字は「半角英文字」と「半角数字」のみです。

8. A power supply is supplied the time of USB cable junction with from a PC through a USB cable. When I'd like to make them stop, USB cable junction is removed.

<u>アップロー</u>ドしたコード Program source code. 00000 and the state // {「モータ 1 をスピード 130 で 1000 ミリ秒回す」 ことを、「ずっと繰り返す」} プログラム #include <STEMDu.h> STEMDu STEMDU robot = STEMDu(); void setup() } void loop() { STEMDU robot.motor(1,130); delay( 1000 ); // コンパイルしたソースコード Program source code. 90 B B B and a firm // {「モータ1をスピード 255」で、後進(バック) することを「ずっと繰り返す」}プログラム #include <STEMDu.h> STEMDu STEMDU robot = STEMDu(); void setup() void loop() STEMDU robot.motor(1,255); STEMDU robot.backwardM1M2(255);

◆実験機で動きの変化をよく確認しましょう。 ロボットをうまく動かすコツがここにあります。

월 JAPAN ROBOTECH LTD.®

## <u>6-4. 制御文(ループ)</u>

#### <u>6.4.1 制御文とは</u>



#### **Control statement (loop)**

The program learned by the preceding section was lining up an order, and was straight from a start to an end.

This is also fine for first us, when repeating the same thing 100 times, is 100 of movement written?

When 10000 times are repeated eternally even if 100 can be written, it's very unreasonable.

When saying "Such case moves so, I'd like to do a different movement at such time.", it's inconvenient by a straight program.

So not just to execute a program in the bottom from the top, but order is changed and carried out, and a movement is changed according to the situation and an executed order for (case separation) is called a control statement (control tile).

The same movement is learned about a repeated loop as the beginning here.

When programing a robot, there are (loops) repeatedly as a used form.

À repeat is one of the order called a control statement, but what is a control statement? When doing the decided movement which is here only once, it isn't necessary. Need is an indispensable one in most programmings as well as a programming of an autonomous robot by the construction which it's needed when doing some programs repeatedly.

A movement is changed according to the situation and an executed order for (case separation) is called a conditional branch.

 $[\underline{\mathrm{If},\,\sim\,\mathrm{if},\,\sim\,]}$  please, a movement will be changed.

The condition isn't sometimes met, so  $[\underline{if,\sim}]$   $\underline{if,\sim}$  or,  $\sim]$  it's used.

It's put in [much repeatedly, (main loop)] and it's used.

条件分岐1

条件分岐2







#### <u>6.4.2. 実験:くり返し(ループ)プログラム作成</u>

#### …スライダーの位置で、動きが変化するプログラムを作成してみます。

タイルを配置してみましょう。今回、作成するのは、スライダーの位置によりモータ回転に変化を与えるプログラムです。

使用アイコンタイル表を参考に、左列の格納パレットよりドラック&ドロップでプログラムエリアに揃えます。



👏 JAPAN ROBOTECH LTD.®

- . 左列アイコンパレット一番上にある { 制御 } をクリックし、出現 するサブウインドウから [ <u>ずっと (メインループ )</u>] を選択し中央のプ ログラムフィールドにドラッグ & ドロップします。
- ②. 左列アイコンパレット { 変数 / 定数 } をクリックし、出現するサブ ウインドウから [ 数値変数に値を設定する ] を選択し中央のプログラム フィールドにドラッグ&ドロップします。

   1 行目: Value に変更
   2 行目: [スライダー] と入れ替えます。
- ③. 左列アイコンパレット { 変数 / 定数 } をクリックし、出現するサブ ウインドウから [整数の変数名] を選択し中央のプログラムフィールド にドラッグ&ドロップします。 1 行目: Value に変更
- ④. 左列アイコンパレット { 変数 / 定数 } をクリックし、出現するサブウ インドウから [ 定数 1 ] のブロックを選択し中央のプログラムフィール ドにドラッグ&ドロップします。 定数:4に変更
- ⑤. 左列アイコンパレット { STEM Du }をクリックし、出現するサブ ウインドウから [スライダー]を選択し中央のプログラムフィールドに ドラッグ&ドロップします。 変更を加えず、そのまま使用します。
- ⑥. 左列アイコンパレット { 通信 }をクリックし、出現するサブ ウインドウから [シリアルに出力して改行]を選択し中央のプログラム フィールドにドラッグ&ドロップします。 変更を加えず、そのまま使用します。
- ⑦ 左列アイコンパレット { 通信 }をクリックし、出現するサブウ インドウから [数値文字列に変換]を選択し中央のプログラムフィール ドにドラッグ&ドロップします。 変更を加えず、そのまま使用します。
- ⑧. 左列アイコンパレット { 演算 }をクリックし、出現するサブウ インドウから [数値文字列に変換] を選択し中央のプログラムフィール ドにドラッグ&ドロップします。 左枠に作成した [Value] を入れます。 右枠に作成した [定数4]
- ⑨. 左列アイコンパレット { STEM Du } をクリックし、出現するサブウインドウから
   [モータ]を選択し中央のプログラムフィールドにドラッグ&ドロップします。
  - ドロップしたばかりの [<u>モータ</u>] ブロックは M(モータ) 1、スピード 255 のパラメータになっています。
  - ・モータは実験機で接続した M1 を使いますので、1のままです。
  - ・スピードの位置の PWM 値 255 を外して作成した [<u>Value ÷ 4</u>] のブロックパーツ を入れる。

#### <u>6.4.3. プログラムアップロード</u>

- ArduBlock の [Arduino にアップロード] をクリックし、作成したスケッ チ(プログラム)を、Arduino ヘアップロードします。
   ・アップロードしたスケッチは、Arduino-IDE のスケッチに「C 言語」で表示されて、コンパイルされます。
- 2. コンパイル後は、すぐにマイコンボードへの書き込みが始まります。

PWM は パ ル ス 幅 変 調(Pulse Width Modulation)と言って,ディ ジタル信号の H と L の長さを変化 させて,指令値を作る方法です。 例えば,LED を高速に点滅させて, 点滅が人間の目にわからないよう にした状態で H の時間と L の時間 の比を変化させると LED の明るさ が変化したように見えます。 モータの駆動時において,高速に

スイッチのON-OFFを繰り返し, ONになっている時間とOFFに なっている時間の比を変更するこ とによって,見かけ上,モータに かける電圧を変更する駆動も可能 になります。

次の図は PWM 信号の例です。周 期的な ON-OFF の信号で,その周 期は PWM 周期と呼ばれます。ま た (ON になっている時間) ÷ (PWM 周期)のことはデューティ 比と呼ばれます。

デューティ比25%		
デューティ比50%		
デューティ比75%		
PWM.EIHP→		







## 6-5. 制御文(分岐)と入力

#### <u>6.5.1. 実験:条件分岐プログラム作成</u>…明るさセンサーの反応量で、動きが変化するプログラムを作成。

タイルを配置してみましょう。今回、作成するのは、明るさセンサーにより、検出する情報(センサー出力電圧) によりモータ回転に変化を与えるプログラムです。 使用センサー:明るさセンサー

使用タイル表を参考に、左列のアイコンパレットよりドラック&ドロップでプログラムエリアに揃えます。

	左列の アイコンパレット	取り出す命令アイコンタイル	変数 / 定数の編集など
1	制御	ずっと(メインループ) 実行	そのまま使用
2	変数 / 定数	86月季数1-1日510足する 東部 日本でのマーVariable name	<ol> <li>1 行目.作成する変数 [light] と入れ替える</li> <li>2 行目.[明るさセンサ] と入れ替える</li> <li>数値変数に値を設定する 変数 light</li> <li>2 明るさセンサ</li> <li>7ログラム中の Block 画像の[?]マークは、コメントがあることを知らせるアナウンスです。</li> </ol>
3	通信	SUTALERA SUG-SS TORNOR	そのまま使用
4	通信	数値を文字列に変換	そのまま使用
5	制御		そのまま使用
6	変数 / 定数	整数の変数名	"light" に変更(" 整数の編集名 " にマウスのカーソルをあて てクリック選択し、"light" と上書きします)
7	STEM Du	明るさセンサ	そのまま使用
8	変数 / 定数		しきい値 [50] に上書きし、左側に入れる。 右に作成した変数 light を入れる。 50 2 2 1 ight <sup>7ログラム中の Block 画像の[?] マークは、コメンドがあることを知らせるアナウンスです。</sup>
9	STEM Du	前進 スピード 255	そのまま使用
10	STEM Du	■ 後進(バック) スピード 255	そのまま使用 <sup>プログラム中の Block 画像の[?]マークは、コメントがあることを知らせるアナウンスです。</sup>
<ul> <li>・コントローラの明るさ(light) センサが検出した情報により、接続したモータの回転が変化することが分かります。</li> <li>・コントローラを手で覆うなどして、明るさを変更すると、モータ回転が変化することが確認できます。</li> <li>・しきい値は、いったん 50 と仮定しプログラムしましたが、シリアルモニターを使用して、明るさセンサが検出している情報(センサー出力値)をモニターして、コント</li> </ul>			

ローラーを設置した環境での明るさに合わせたしきい値に変更し実験してください。

🖄 JAPAN ROBOTECH LTD.®